

第 61 回神戸市環境保全審議会
令和 8 年 8 月 24 日
参 考 資 料 1

○神戸市環境保全審議会規則

平成 9 年 7 月 30 日

規則第 28 号

改正 平成 22 年 11 月 11 日 規則第 17 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、神戸市民の環境をまもる条例（平成 6 年 3 月条例第 52 号）
第 53 条第 4 項の規定に基づき、神戸市環境保全審議会（以下「審議会」という。）
の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 審議会は、40 人以内の委員で組織する。

- 2 委員は、学識経験者その他市長が必要があると認める者のうちから市長が委
嘱し、又は任命する。
- 3 前項に規定する委員のほか、市長は、特別の事項又は専門の事項を調査審議
させるため必要があると認めるときは、当該事項を明示して臨時委員を委嘱し、
又は任命することができる。
- 4 臨時委員は、当該事項が議題として審議されるときに限り会議に出席する。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 臨時委員は、当該特別の事項又は専門の事項の調査審議が終了したときは、
解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第 4 条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、審議会に関する事務を処理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、
その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 審議会は、会長が招集し、会長が、その議長となる。

2 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の総数の過半数の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、環境局において処理する。

(施行細目の委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に神戸市環境保全審議会規則（昭和47年8月／市／教育委員会／規則第2号）の規定に基づき市長により委員に委嘱され、又は任命されている者は、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命された者とみなす。

3 前項の規定により委員とみなされた者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、1年3月27日とする。

(平成22年11月25日に審議会の委員である者の任期に関する特例)

4 平成22年11月25日に審議会の委員である者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則（平成22年11月11日規則第17号）

この規則は、公布の日から施行する。

神戸市環境保全審議会委員名簿

(50 音順、敬称略)

氏名	所属および肩書	備考
いかわ 井川 あゆみ	兵庫県環境部環境政策課長	
うえはた 上 畠 のりひろ 寛弘	神戸市会議員（自由民主党）	
うしまる 丑丸 あつし 敦史	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	
おお 大かわら すずこ 鈴子	神戸市会議員（日本共産党）	
おおくぼ 大久保 のりこ 規子	大阪大学大学院法学研究科 教授	欠席
おおと 大戸 みつなり 満成	兵庫県環境部次長	欠席
かじ かじ ゆきお 幸夫	神戸市会議員（こうべ未来）	
こじま 小島 りさ 理沙	京都経済短期大学経営情報学科 教授	欠席
さとう 佐藤 まさゆき 真行	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	
しまだ 島田 こうじ 幸司	立命館大学経済学部 教授	
しまだ 島田 ようこ 洋子	京都大学大学院工学研究科 教授	
たかお 高尾 ひろ子	神戸市婦人団体協議会	
たかはし 高橋 としえ	神戸市会議員（日本維新の会）	
とくやま 徳山 まさはる 雅 治	生活協同組合コープこうべ	
なかむら 中村 やすひろ 康宏	連合神戸地域協議会	
にしやま 西山 ともよ 友世	兵庫県環境保全管理者協会	WEB
ひらい 平井 かつゆき 克 幸	神戸商工会議所	WEB
ほそや 細谷 のりよし 典 功	神戸市会議員（公明党）	
ほんだ 本田 ともみ 智美	神戸市自治会連絡協議会	
やつもと 八元 あや 綾	環境省近畿環境局 環境対策課長	WEB
わたなべ 渡辺 のぶひさ 信久	大阪工業大学工学部 教授	

合計 21 名

座席表

(50音順)

しまだ
島田(幸)会長

しまだ
島田(洋)副会長

○ ○

いかわ
井川委員

○

うへはた
上畠委員

○

うしまる
丑丸委員

○

おお
大かわら委員

○

かじ委員

○

さとう
佐藤委員

○

たかお
高尾委員

○

【WEB出席】

にしやま
西山委員

ひらい
平井委員

やつもと
八元委員

わたなべ
渡辺委員

○

ほんだ
本田委員

○

ほそや
細谷委員

○

なかむら
中村委員

○

とくやま
徳山委員

○

たかはし
高橋委員

○

事務局

速記

環境局

記者席

記者席

傍聴席（10名）

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

受付

WEB出席に係る注意事項

1. Zoom の参加者名

氏名（苗字＋名前）としてください。

2. 会議中のビデオ及びマイク

ビデオはON、マイクはミュート（OFF）としてください。

3. 会議における発言方法

（１）マイクはミュートの状態で、Zoomの「手を挙げる」ボタンを押してください。

（２）司会からの指名後に、ミュートを解除して発言してください。

（３）発言後にマイクをミュートにしてください。

（４）「手を降ろす」ボタンを押してください。

4. 会議中の事務局への連絡手段について

会議中の不具合など、事務局に連絡する際にはチャットをご利用ください。

5. Zoom画面の説明

※画像はパソコン画面です。

挙手
アイコン



・マイクは基本ミュート（OFF）とし、発言時のみ ON にしてください。

・チャットはこちらから。

・「リアクション」→「手を挙げる」をクリックすると、画面左上に挙手アイコンが出ます。

・ビデオは常に ON にしてください。

・司会に指名され、発言が終われば「手を降ろす」をクリックして挙手アイコンを消してください。

令和 8 年 3 月～8 月 環境局記者提供資料等

1. 令和 8 年 3 月～8 月 環境局記者提供資料（抜粋）

No.	提供日	表題	ページ
1	3 月 24 日	「折り畳み式ネットボックス等購入助成金」申請受付のお知らせ	1
2	4 月 8 日	自然環境保全活動を行う団体への補助を行います	2
3	4 月 17 日	神戸の絶滅の恐れがある野生生物のリスト「神戸版レッドデータ 2025」を公開します	5
4	4 月 24 日	神戸市沿岸における有効な藻場分布調査手法の検証業務およびブルーカーボンによる生物多様性評価に係る委託候補者の選定結果を公表します	8
5	5 月 14 日	神戸市と大栄環境株式会社によるプラスチック資源の再商品化実施に係る連携協定の締結	9
6	5 月 15 日	スマホを使った生物調査に参加しませんか？～アプリを使って夏の生きもの探し～	11
7	5 月 15 日	生物多様性豊かなビオトープの造成や再生を支援します	13
8	5 月 26 日	事業所から排出される紙類の再資源化を進めます	15
9	6 月 1 日	KOBE クールオアシス、今年もまちのお店でひと涼み	17
10	6 月 1 日	「こうべコンポストプロジェクト」がスタートします！あなたの暮らしに合うコンポスト容器をプレゼント！	18
11	6 月 8 日	ひょうご脱炭素経営スクールの開校及び参加者募集	21
12	6 月 8 日	環境学習講座「エコちゃれゼミ」はじまるよ！	24
13	6 月 12 日	2026 年度 KOBE ゼロカーボン支援補助金の採択結果	26
14	6 月 12 日	国連の生物多様性条約締約国会議（COP17）に参加する学生が決まりました	32
15	6 月 23 日	家庭ごみの指定袋に関する臨時的措置の期間延長	34
16	6 月 26 日	神戸市フードロスロッカー設置経費等補助制度に係る第 1 回目交付先を決定しました	35
17	7 月 1 日	フードシェアリングサービス普及促進に関する事業連携協定を締結しました	37
18	7 月 27 日	「神戸 SDGs 表彰」の推薦の募集開始	38
19	7 月 31 日	三宮に新しい喫煙所がオープンしました	40
20	7 月 31 日	2025 年度神戸市の大気質・水質・騒音・公害苦情処理等の状況	42
21	8 月 10 日	フードシェアリングサービス普及促進に係る連携事業者の追加決定	47

2. その他

No.	項目	ページ
1	事業系資源紙のリサイクルの推進	48
2	神戸市をとりまくツキノワグマの状況と予防監視体制	50

記者資料提供（2026 年 3 月 24 日）

神戸市環境局業務課 山下・堀田

TEL：078-595-6144 FAX：078-595-6246

「折り畳み式ネットボックス等購入助成金」申請受付のお知らせ

本市では、家庭ごみのクリーンステーションにおけるカラス等鳥獣被害対策として、2024 年度より折り畳み式ネットボックスを貸与し、必要と判断された場合は利用者により購入いただいています。

このたび、利用者の費用負担を軽減し、折り畳み式ネットボックスの設置普及を図るため、「折り畳み式ネットボックス等購入助成制度」を創設し、助成金申請の受付を開始します。

※本助成金の交付は神戸市会（市議会）で予算の議決承認がなされることを条件としています。

1. 助成対象

①対象者

クリーンステーションを利用する者の代表者（代理申請可）

②助成金の対象

折り畳み式ネットボックス・ボックス型ごみ集積庫（スチール製・プラスチック製等）

※2024 年 4 月 1 日以降に環境局事業所と事前協議を行い設置を認めたもの

2. 助成金額

購入費の半額（クリーンステーション 1 か所につき上限 3 万円）

※100 円未満切捨て、送料・設置料は助成対象外

3. 申請方法等

①申請方法

原則、e-KOBE（神戸市スマート申請システム）による電子申請

※電子申請ができない場合は、郵送での申請も受け付けます。

②受付期間

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 2 月 28 日

制度詳細は以下 URL からご確認ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a04164/kurashi/recycle/gomi/dashikata/karasutaisakubox.html>

記者提供資料（2026 年 4 月 8 日）

環境局自然環境課 岡田、矢野

TEL：078-595-6216 FAX：078-595-6254

E-mail: biodiversity@city.kobe.lg.jp

環境保全課 梶原、中林

TEL：078-595-6215 FAX：078-595-6256

E-mail: suisitu_monitoring@city.kobe.lg.jp

自然環境保全活動を行う団体への補助を行います

神戸市では、自然環境保全活動に対する市民理解を深め、保全活動への市民参加を促進するため、市内で自然環境保全活動を行う団体の活動に関する経費について補助する「神戸市自然環境保全活動支援事業」を実施します。

この事業が対象としているのは次の 3 つの活動です。

- ① 生物多様性保全活動
- ② アカミミガメ防除活動
- ③ 水辺清掃活動

また、アカミミガメ防除活動を行う団体のうち、捕獲数が多い上位 3 団体について、表彰及び副賞最大 100,000 円を交付します。

支援制度の詳細については要綱・募集要領をご参照ください。

1. 生物多様性保全活動

（1）対象活動

- ① 生態系に悪影響を及ぼす動植物を防除する活動
- ② 「神戸版レッドデータ 2025」（近日公開予定）に記載の希少種のうち、C ランク以上の野生動植物等の保全・保護活動
- ③ 活動地域における在来生態系の保全に関する活動
- ④ 生物多様性の普及啓発に関する活動

（2）補助金額

1 団体につき 100,000 円を限度とします。

（3）募集団体数

先着 10 団体程度（予算の上限に達し次第、募集を締め切ります。）

（4）活動の対象期間

2026 年 4 月 1 日（水曜） ～ 2027 年 2 月 26 日（金曜）

2. アカミミガメ防除活動

(1) 対象活動

以下の要件を全て満たす、アカミミガメ防除のための活動とします。

- ① 5名以上の団体の活動であること
- ② 神戸市内の河川、ため池等で行われる防除活動であること（河川の指定はありません。）
- ③ 3名以上の会員が参加するアカミミガメの防除に関する講習会を、原則としてアカミミガメを捕獲する場所で開催すること

(2) 補助金額

捕獲数	補助額
0～9 匹	10,000 円
10～24 匹	20,000 円
25～49 匹	30,000 円
50～74 匹	40,000 円
75 匹以上	50,000 円

※神戸市が引き取りを行った個体数をもって捕獲数とします。

(3) 募集团体数

先着 20 団体程度（予算の上限に達し次第、募集を締め切ります。）

(4) 活動の対象期間

交付決定日 ～ 2026 年 12 月 25 日（金曜）

(5) 表彰制度

補助団体のうち、捕獲数が多い上位 3 団体について表彰し、捕獲数に応じて下表に掲げる金額を副賞として交付します。

捕獲数	副賞
～199 匹	+10,000 円
200 匹～299 匹	+20,000 円
300 匹～399 匹	+30,000 円
400 匹～499 匹	+40,000 円
500 匹～599 匹	+50,000 円

捕獲数	副賞
600 匹～699 匹	+60,000 円
700 匹～799 匹	+70,000 円
800 匹～899 匹	+80,000 円
900 匹～999 匹	+90,000 円
1,000 匹以上	+100,000 円

3. 水辺清掃活動

(1) 対象活動

河川、海岸及びその周辺水域の清掃活動

(2) 補助金額

1 活動につき 30,000 円を限度とする。

(3) 募集团体数

先着 5 団体程度（予算の上限に達し次第、募集を締め切ります。）

(4) 活動の対象期間

2026 年 4 月 1 日（水曜） ～ 2027 年 1 月 31 日（日曜）

4. 要綱、募集要領、申請書について

神戸市環境局のホームページからダウンロードできます。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/biodiversity/hojokin.html>

支援制度の詳細・申請方法については、要綱・募集要領をご参照ください。

(参考) アカミミガメとは

アカミミガメは北米原産の淡水ガメで、全国各地に定着し、在来カメ類の日光浴の場所や食物を奪うなどの影響を及ぼしています。また、雑食性で水草や様々な水生生物を捕食するため、在来生物群集に大きな影響を与えと考えられます。2023 年 6 月には外来生物法に基づき、条件付特定外来生物に指定され、ペットとしての飼育は可能ですが、野外への放流などは法律により禁止されています。



神戸の絶滅の恐れがある野生生物のリスト 「神戸版レッドデータ 2025」を公開します

このたび、現行の「神戸版レッドデータ 2020」を改訂し、神戸市内における最新の動植物の生息・生育状況を反映した「神戸版レッドデータ 2025」を作成しました。このレッドデータを公開することにより広く市民に情報提供するとともに、神戸市の生物多様性保全施策に活用していきます。

1. 概要

- ・神戸市では、生物多様性の保全の取り組みを進めるため、蓄積してきた動植物のデータをもとに、絶滅のおそれのある野生動植物をその危険度に応じてランク付けした「レッドリスト」、生態系に悪影響を及ぼす又はそのおそれのある外来種の「ブラックリスト」で構成される「神戸版レッドデータ」を作成しています。
- ・前回の改訂で「神戸版レッドデータ 2020」を作成してからおよそ 5 年が経過したことから、専門家からの意見収集を行い、最新の「神戸版レッドデータ 2025」を作成しました。
- ・動植物 837 種（動物 354 種、植物 483 種）を絶滅の恐れがある野生生物として掲載しました。前回の 2020 年度公表版と比べて 24 種（動物 6 種、植物 18 種）増加しています。

2. リストの公表

下記神戸市ホームページに掲載しています。

- ・神戸版レッドデータ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/biodiversity/reddata2025.html>

3. 主な種のカテゴリー（ランク）の変更

神戸版レッドデータに掲載されたうち、主な種のカテゴリーの変更理由は以下のとおりです。

（1）哺乳類

【種名】キツネ（イヌ科）

【カテゴリー】ランク C（前回是要調査）

【カテゴリー変更の理由】

国語教科書の定番作品「ごんぎつね」にも登場する、



日本人に馴染みの深い動物。餌となる野ネズミや小鳥の減少等により、神戸市内では減少傾向にあると考えられていたが、目撃情報がほとんどなく生息状況は把握できておらず要調査種としていた。この数年間で、神戸市がシカ・クマの監視のため野外に設置した250台のセンサーカメラにより低頻度ながらその姿が確認されたこともあり、新たにリストに加えた。

【概要】

中型の哺乳類。背面は赤褐色で顎の下から腹部は白色。主に森林と畑地が混在する田園環境を好む。齧歯類、鳥類、昆虫類などの小型動物や果実などを食べる。

(2) 両生類

【種名】ニホンヒキガエル（ヒキガエル科）

【カテゴリー】ランクB（前はランクC）

【カテゴリー変更の理由】

「ガマガエル」として広く知られたカエルであり、かつては神戸市内でも普通にみられた種。アライグマなど外来種による捕食が確認されており分布が縮小し、個体数の減少が懸念されるためランクを引き上げた。



【概要】

六甲山系の里山に生息し、産卵は2月下旬から3月上旬（早春）。大型のカエルで体色は赤褐色から濃褐色。成体は日本最大級のカエル。

(3) 甲殻類

【種名】ハクセンシオマネキ（スナガニ科）

【カテゴリー】ランクC（前はランクなし）

【カテゴリー変更の理由】

干潟にすむ小型のカニで、干潟環境の消失や悪化などにより全国的に生息地が減少している種。神戸市内ではこれまで生息情報がなかったが、兵庫運河に干潟が造成され、里海を守る地域団体の活動によって良好な環境が維持されている。そのような中、2023年に市内で初めて生息が確認されたことから、新たにリストに加えた。



【概要】

甲幅約2cmのカニで、オスは片方のハサミが巨大化する。ハサミは白くて目立ち、6月～8月の繁殖期には、このハサミを振り回してメスに求愛する。

【参考】

○絶滅の恐れがある野生生物として掲載した種数の変化

分類		レッドリスト2020選定種					レッドリスト2025選定種					2025と 2020の 差
		ランク				合計	ランク				合計	
		今	A	B	C		今	A	B	C		
動物	哺乳類	0	3	7	1	11	0	3	7	3	13	2
	鳥類	0	8	46	31	85	0	14	53	22	89	4
	爬虫類	0	3	2	2	7	0	2	2	1	5	▲ 2
	両生類	0	2	5	4	11	0	2	6	2	10	▲ 1
	魚類（淡水・汽水産）	0	6	9	10	25	0	5	9	10	24	▲ 1
	昆虫類	16	24	30	76	146	13	26	32	70	141	▲ 5
	甲殻類（淡水・汽水産）	0	2	5	3	10	0	2	4	7	13	3
	貝類（陸産）	1	5	6	13	25	1	8	9	7	25	0
	貝類（水棲）	0	7	8	13	28	0	15	10	9	34	6
動物合計		17	60	118	153	348	14	77	132	131	354	6
植物（シダ植物・種子植物）		50	141	162	112	465	49	153	167	114	483	18
動物・植物の合計		67	201	280	265	813	63	230	299	245	837	24

※ランクの「今」、「A」、「B」、「C」はレッドリストカテゴリー参照

○レッドリストカテゴリー

カテゴリー		概 要	環境省レッドリスト との対応関係
今見られない	今	神戸市内での確認記録、標本があるなど、かつては生息・生育していたと考えられるが、現在は見られなくなり、生息・生育の可能性がないと考えられる種	絶滅 野生絶滅
A ランク	A	神戸市内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策が必要な種	絶滅危惧Ⅰ類
B ランク	B	神戸市内において絶滅の危機が増大している種など、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	絶滅危惧Ⅱ類
C ランク	C	神戸市内において存続基盤が脆弱な種。極力、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	準絶滅危惧

記者提供資料（2026 年 4 月 24 日）

環境局自然環境課 岡田、堤

TEL：078－595－6216 内線：955－3722

E-mail:biodiversity@city.kobe.lg.jp

神戸市沿岸における有効な藻場分布調査手法の検証業務およびブルーカーボンによる生物多様性評価に係る委託候補者の選定結果を公表します

神戸市沿岸における有効な藻場分布調査手法の検証業務およびブルーカーボンによる生物多様性評価に係る委託事業者を公募した結果、7 事業者から応募がありました。事業者選定委員会の審査の結果、下記のとおり委託候補者を選定しましたのでお知らせします。

1 業務の概要

有効な藻場分布調査手法の検証業務、ブルーカーボンによる生物多様性評価

2 委託候補者

復建調査設計株式会社 神戸事務所

3 選定結果

事業者選定委員会において、企画提案書及び事業者へのヒアリングに基づき総合的に評価した結果、下記の結果となり、契約候補者として決定しました。

【評価結果】（500 点満点）

1 位	復建調査設計株式会社 神戸事務所	405 点
2 位	A 社	399 点
3 位	B 社	379 点
4 位	C 社	367 点
5 位	D 社	345 点
6 位	E 社	342 点
7 位	F 社	318 点

4 契約期間

契約締結日から 2027 年 3 月 31 日（水曜）まで

5 委託候補者選定までの流れ

(1) 公募開始	2026 年 2 月 24 日（火曜）
(2) 企画提案書の提出期限	2026 年 4 月 8 日（水曜）
(3) 事業者選定委員会	2026 年 4 月 14 日（火曜）

記者資料提供（2026 年 5 月 14 日）

神戸市環境局環境企画課 藤井・上山

TEL：078-595-6076 FAX：078-595-6240

神戸市と大栄環境株式会社による プラスチック資源の再商品化実施に係る連携協定の締結

この度、本市と大栄環境株式会社の間で、以下のとおり、プラスチック資源の再商品化実施に係る連携協定を締結しました。

現在、分別収集を行っている容器包装プラスチックに加えて、2030 年度からは製品プラスチックも一括して分別収集を開始することを予定しており、これらをリサイクルして再商品化するために、連携協定に基づき、準備を進めていきます。

1. 協定の締結先

大栄環境株式会社

代表取締役 金子 文雄

2. 協定の名称

プラスチック資源の再商品化実施に係る連携協定

3. 締結日（期間）

2026 年 5 月 14 日（木曜）

（協定締結の日から認定再商品化計画に基づく委託契約締結の前日まで）

4. 主な連携事項

2030 年度から予定しているプラスチック資源（製品プラスチックおよび容器包装プラスチック）の一括収集および再商品化の開始のために、本市と大栄環境株式会社で連携して、市内の一部地域でのモデル的な一括収集や、市民向けのプラスチック資源の出し方ルール等の啓発等の取り組みを行います。

なお、一括収集の開始に際しては、連携事業者である大栄環境株式会社との間で、プラスチック資源の再商品化実施に関する委託契約を締結する予定です。

5. 今後の予定

2027 年度	【モデル収集、調査の実施】 市内の一部地域で、モデル的に製品プラスチックおよび容器包装プラスチックを一括収集し、収集量見込等を調査します。
2029 年度	【再商品化計画の立案】 プラスチック資源を一括収集して、再商品化するための計画を立案し、環境省の認定を受けます。 【市民向けの啓発】 市民向けにプラスチック資源の出し方ルール等を分かりやすくお知らせします。
2030 年 4 月	【プラスチック資源の一括収集開始】 全市で、製品プラスチックおよび容器包装プラスチックの一括収集の開始を予定しています。

スマホを使った生物調査に参加しませんか？ ～アプリを使って夏の生きもの探し～

今回、株式会社バイオームと連携し、AIにより動植物 約 100,000 種を判定するスマホアプリ「Biome（バイオーム）」を活用し、神戸市に生息している生きものや豊かな環境である里山の指標となる生きもの、神戸市で確認されている外来種等の生きものを対象とした市民参加型の調査を実施します。神戸市全域での生物調査に、ぜひご参加ください。

1. 「Biome」を活用した市民参加型の生物調査

（クエスト：夏休み生きものクエスト 2026～神戸で夏の生きものさがし～）

神戸市全域を対象として、生きものの調査を行います。お手持ちのスマートフォンに「Biome」をダウンロードの上、ミッションにご参加ください。

なお、ツヤハダゴマダラカミキリは日本固有種のゴマダラカミキリとよく似ていますので、「Biome」に記載の見分け方の説明をよくご覧いただき、見分けやすいよう、背中側から全身を写すように写真を撮影してください。

(1)期間：2026 年 6 月 1 日（月曜）～2026 年 8 月 31 日（月曜）まで

(2)調査への参加方法

①スマホアプリ「Biome」（無料）をダウンロード。

②「Biome」を開き、いきものクエストより「夏休み生きものクエスト 2026～神戸で夏の生きものさがし～」をご覧ください。

③対象の生物を見つけたら写真を撮り、「Biome」に投稿してください。

(3)ミッション一覧

①メインミッション

【神戸市に生息している生きもの】ナナホシテントウムシなど

②エクストラミッション1

【特定外来生物】ツヤハダゴマダラカミキリ、クビアカツヤカミキリ、ナガエツルノゲイトウ

③エクストラミッション2

【里山の生きもの】キリギリス、コクワガタなど

④エクストラミッション3

【外来生物展示センター】外来生物展示センター内にある生体展示・標本展示

⑤エクストラミッション4

【夜に集まる生きもの】セミの仲間、樹液に集まる昆虫など

※各ミッション対象の生きものについては、アプリよりご確認ください。

(4)その他

・本クエストの対象期間が終了した後も、「Biome」を利用した投稿は可能です。

・昨年実施した生物調査の結果は以下の報告書をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/84611/20260409180450.pdf>

2. スマートフォンアプリ「Biome」とは

株式会社バイオームが開発・運営している無料のスマートフォンアプリです。生きものの写真を撮影すると、独自の AI が種を判定します。生きものに詳しくない方でも気軽に生物を調べることができます。図鑑機能もあり、撮影した生きものの情報をその場で調べることも可能です。

「Biome」にはクエストというイベント機能があり、生物調査ができます。今回はこのクエストを活用し、生物調査を実施します。

アプリは、以下のページよりダウンロードください。

<https://biome.co.jp/app-biome/>



ダウンロード用
二次元コード



バイオームのイメージ

3. カミキリポストの開設

特定外来生物のツヤハダゴマダラカミキリは、六甲アイランド内で発生しています。その対策として、2022 年度より六甲アイランド情報交流センター（六甲ライナー・アイランドセンター駅 1 階）にカミキリポストを設置し、市民が採集したツヤハダゴマダラカミキリを神戸市が回収・駆除しています。今年度の設置期間は 2026 年 6 月 1 日（月曜）～2026 年 8 月 31 日（月曜）です。（開館時間は 10 時～16 時）。

なお、ツヤハダゴマダラカミキリを採集した場合は、空のペットボトルに入れ、しっかりと蓋を閉めてカミキリポストまでお持ちください。

4. 市イベントページ（「おでかけ KOBE」の URL）

<https://event.city.kobe.lg.jp/event/PfldTPg7d0BMVbaND6QA>

（参考 1）ツヤハダゴマダラカミキリ

中国等が原産の外来昆虫で、日本固有のゴマダラカミキリに非常によく似ていますが、翅のツヤツヤ（ゴマダラカミキリはデコボコ）である等で区別できます。神戸市では特にアキニレを好んで食害しています。

（参考 2）クビアカツヤカミキリ

名前のとおり首（胸部）が赤色、他は光沢のある黒色の体の特徴の外来昆虫です。成虫の活動期は 6 月～8 月頃で、繁殖力が非常に高く、サクラ・ウメ・モモ等を好んで食害します。



ツヤハダゴマダラカミキリ



クビアカツヤカミキリ

記者資料提供（2026 年 5 月 15 日）

神戸市環境局自然環境課 岡田・長谷川

TEL：078-595-6216 FAX：078-595-6254

E-mail：biodiversity@city.kobe.lg.jp

生物多様性豊かなビオトープの造成や再生を支援します

神戸市では、ネイチャーポジティブ※の実現や生物多様性豊かな環境づくりを推進するため、市内にビオトープを増やす取り組みを進めています。

ビオトープは、地域本来の生きものが生息・生育できるように整備された、池や草地、林などであり、里山や河川などの周囲の自然とつながることにより、都市部の中でも様々な鳥やトンボ、草花などが見られる生物多様性豊かな空間を創出します。

このようなビオトープを造成・再生し、維持管理活動を行う自治会、学校、企業等の団体に対して、専門家の派遣を行います。

※ネイチャーポジティブ：自然環境の損失を止めるだけでなく、損なわれた自然を回復させ、全体として生物多様性の状態を向上させていく考え方。

1. 対象となる活動

神戸市内で実施される地域の生態系に配慮したビオトープの造成・再生、維持管理に関する活動

＜対象活動（例）＞

- 団体が所有又は管理する土地へのビオトープの造成
- 既にあるビオトープの適切な維持管理
- 地域の生態系に配慮した動植物の移入

2. 支援内容

1 団体につき最大 5 回、無料の専門家派遣

※神戸市でビオトープの造成・再生に取り組んでいる地域の活動者や生物分類技能検定・ビオトープ管理士等の資格を有する専門家等

＜支援内容（例）＞

- 造成・再生するビオトープの方針に関する指導・助言
- ビオトープへ導入する生物種に関する指導・助言
- 構成・配置に関する指導・助言
- 維持管理に関する指導・助言

3. 募集团体数

10 団体程度

※予算の上限に達し次第、募集を締め切ります。

4. 活動の対象期間

2026 年 4 月 1 日（水）～2027 年 3 月 31 日（水）の期間に実施される活動

5. 要綱、募集要領、申請書について

神戸市環境局ホームページからダウンロードできます。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/biotope.html>

支援制度の詳細や申請方法については、要綱・募集要領をご参照ください。

6. 昨年の様子



（ビオトープ内の生物調査）

事業所から排出される紙類の再資源化を進めます

神戸市では、2026 年 3 月に「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、廃棄物の減量・資源化および循環型社会の実現に取り組んでいます。

なかでも、事業所から排出される「可燃ごみ」には、資源化可能な紙類（資源紙）が多く含まれており、これらを適切に分別することで、リサイクルすることが可能となります。

このため、神戸市では、分別された資源紙を確実にリサイクルできる事業者および資源紙の回収場所（回収拠点）を提供できる事業者を募集します。

なお、応募いただいた事業者および回収拠点については、内容を審査のうえ、市ホームページ等で広く周知し、利用促進を図ります。

1. 募集する事業者・回収拠点

○事業系資源紙回収協力事業者

事業者から持ち込まれる資源紙を無料で引き取る事業者

市ホームページ等に掲載するとともに、事業者から持込先に関する問い合わせがあった場合は、優先的に案内します。

○事業系資源紙回収拠点

事業者が少量でも気兼ねなく資源紙を持ち込むことができる無人の回収拠点
所在地をマップ化し、市ホームページ等で紹介します。

○事業系資源紙取扱事業者

資源紙の収集および受け入れを行う事業者（有料・無料を問わず）

市ホームページ等に掲載します。

※詳しくは、「5. 参考 資源紙のリサイクルの仕組み」をご参照ください。

2. 募集期間

2026 年 5 月 26 日（火曜）から随時募集

3. 回収品目

新聞、雑誌、ダンボール、OA紙、その他の古紙、シュレッター紙、機密文書（事業系資源紙回収拠点制度は除く）

4. 要綱、登録基準、申請書

制度の詳細や申請方法は、以下のホームページをご参照ください。

- ・ [事業系資源紙回収協力事業者](#)

(<https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/kami/kyouryoku.html>)

- ・ [事業系資源紙回収拠点](#)

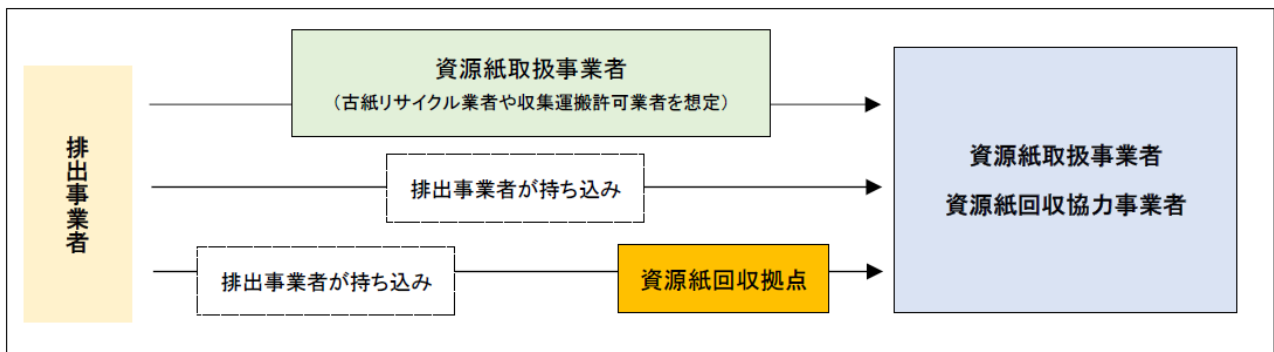
(<https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/kami/kyoten.html>)

- ・ [事業系資源紙取扱事業者](#)

(<https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/kami/toriatsukai.html>)

5. 参考

資源紙のリサイクルの仕組み



記者資料提供（2026 年 6 月 1 日）

環境局脱炭素推進課 西巻、後藤

TEL : 078-595-6213 e-mail:eco_office@city.kobe.lg.jp

KOBE クールオアシス、今年もまちのお店でひと涼み

夏季の外出時の一時休息所「KOBE クールオアシス」の利用を今年度も、6 月 1 日より開始します。民間事業者のご協力により、薬局、コンビニエンスストア、ショッピングモール等の市内 895 店舗を涼み処としてご利用いただけます。

1. KOBEクールオアシスとは

- (1) 高温常態化対策の一環として、冷房のきいた店舗を一時的な休息所として活用する取り組みです。民間事業者のご協力により、涼しい空間を提供いただいています。
- (2) 15分程度を目安としてご利用いただけます。
- (3) ポスター、ステッカーの掲出されている店舗が目印となります。また、外出時にスマホで周辺店舗の検索ができます。
(なお、店舗により掲示されていない場合もあります。)
- (4) 薬局では、薬剤師に簡単な健康相談もできます。
- (5) KOBEクールオアシスの協力店舗
薬局、コンビニエンスストア、スーパー・ショッピングモール、携帯電話ショップ、郵便局等の市内全域895箇所です。詳しくは、神戸ひんやりアクションスマートガイド (<https://cool.smartkobe-portal.com/>) より、マップをご覧ください。

2. KOBEクールオアシス実施期間

6 月 1 日から 9 月 30 日まで



ステッカー



ポスター

「こうベコンポストプロジェクト」がスタートします あなたの暮らしに合うコンポスト容器をプレゼント！

神戸市では、循環型の生ごみ減量を目指して、微生物の力で生ごみを分解するコンポストの普及啓発に取り組んでいます。

今年度より、一層の生ごみ減量を図るため、これまで取り組んできた「キエーロ」に加え、放置竹林の竹から生まれた竹チップを使った竹コンポストなど、様々な種類のコンポストの中から市民のライフスタイルに合うものをご紹介します、アーバンファーマーミング運営団体等と連携してコンポスト活動の輪を広げる「こうベコンポストプロジェクト」を開始します。

《こうベコンポスト公式サイト》

<https://compost.smartkobe-portal.com/>



1. コンポスト講習会を開催（年間 100 回）コンポスト容器をプレゼント！

2026 年 6 月～2027 年 3 月まで市内各所の菜園等でコンポスト講習会を年間 100 回開催します。受講者には数種類の容器の中から好きなコンポスト容器と、コンポスト基材として竹チップをプレゼントします（別添チラシ参照）。

生ごみを減らしながら季節の野菜や花を楽しめる「コンポストのある生活」を始めてみませんか。

- ・講習会受付開始：6 月 2 日（火曜）12 時（以降、開催日の 3 週間前から募集開始予定）
- ・対象：神戸市在住の方
- ・申込先：こうベコンポスト公式 LINE から
- ・講習会開催場所：2026 年 6 月 1 日時点（今後、順次拡大予定）



エリア	開催場所
東灘区	シェラトンファーム
灘区	コミュニティ農園いちばたけ
中央区	生田町 park 菜園（そらばたけ）
兵庫区	NATURE STUDIO、平野コープ農園
北区	一十土、淡河バンブープロジェクト、のらふあーむ
長田区	おさんぽ畑、まのっこアグリクラブ（そらばたけ）
須磨区	ハタ tainohata playground、pick!nic!farm、みんなのうえん禅昌寺
垂水区	学が丘菜園（そらばたけ）、まるっとガーデンあそびば！
西区	ウェルアベニューマルシェ

2. 放置竹林対策に取り組む団体とも連携

放置竹林の拡大を防ぎ、豊かな自然を守るために、市内各所で様々な地域団体や NPO、ボランティアグループ等が竹林整備活動に取り組んでいます。

放置竹林の竹を粉碎した竹チップには乳酸菌が多く含まれ、生ごみの分解に適していると言われていたことから、コンポスト講習会では市内放置竹林の竹から生まれた竹チップをコンポスト基材として無償提供します。

竹チップを使用することは、放置竹林対策に取り組む団体の応援につながります。

◆こうべコンポストプロジェクトに参画いただいている竹林整備関連団体

団体名	活動エリア
生野里づくり協議会	北区：道場町
一十土・甲南大学 Bamboo に Thank you Project	北区：大沢町
淡河バンブープロジェクト	北区：淡河町
上穂川フィールド再生・活用ネットワーク	須磨区：多井畑西地区
認定 NPO 法人ぱれっと	神戸市内全域

3. 堆肥の回収

ご家庭で生ごみをコンポストに入れることでできる栄養豊富な土や堆肥は、家庭菜園に使用できます。堆肥の使い道のない方向けに、指定の菜園への堆肥持ち込みや堆肥回収イベントの実施も予定しています。

4. こうべコンポスト PR イベントの実施

「夏休み！こども環境ワークショップ」

竹コンポスト講習会や、竹を使った工作ワークショップなど、夏休みの自由研究にぴったりの子ども向けイベントを開催します。

◆対象／小学生（要保護者同伴）

◆日程／8月9日（日曜）10時00分～15時00分

◆場所／ふたば学舎

◆内容／・竹コンポスト無料講習会（要申込）

時間／10時30分～11時30分（50組）、12時30分～13時30分（50組）

料金／無料

申込／7月8日（水曜）12時～こうべコンポスト公式 LINE から申込制（先着順）

参加者には、竹コンポスト容器と竹チップをプレゼント。

容器をカラフルに飾るワークショップもあります。

・竹を使った工作ワークショップ、ほか（一部有料ブースあり）

5. こうべコンポストサポート店制度もスタート

こうべコンポストプロジェクトの PR にご協力いただくサポート店が市内に3店舗誕生！

店舗名	住所（営業時間）
アグロガーデン神戸駒ヶ林店	神戸市長田区南駒栄町 1-7（9時30分～20時00分）
アグロガーデン神戸星陵台店	神戸市垂水区星陵台 4 丁目 4-31（9時30分から 19 時）
コープリビング甲南	神戸市東灘区甲南町 2-1-20（9時から 19 時）

無料

はじめての コンポスト講習会

野菜くずを土に還そう

あなたの暮らしに合うコンポストと
放置竹林から生まれた竹チップを
プレゼント！

1 講習会当日にお渡し



キエーロ



不織布
コンポスト

2 後日サポート店でお渡し



密閉式
コンポスト



土中式
コンポスト



大型不織布
コンポスト

講習会内容

講習会の流れ

- 体験型コンポスト講習会
ライフスタイルに合うコンポストをご紹介
- ご家庭でコンポストにチャレンジ
- できた栄養たっぷりの土や堆肥は家庭菜園に



開催予定（各回10名程度）

開催場所：市内各所の菜園など
開催時期：2026年6月～2027年3月で
100回開催予定！！

申し込み

6月～講習会申込受付開始



最新の講習会情報は
こうべコンポスト
公式LINEから



KOBE

ひょうご脱炭素経営スクールの開校及び参加者募集

神戸市では市内中小事業者向けの脱炭素経営支援を進めていますが、さらなる機運醸成に向けて昨年度に引き続き、兵庫県と共同で県内中小事業者等向けの脱炭素経営伴走支援「ひょうご脱炭素経営スクール」を開校することにいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. ひょうご脱炭素経営スクールの実施内容

1 概要	県内中小事業者等に対して脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法について講義形式で提供するスクールです。脱炭素経営のメソッドが詰まったスクールの受講を契機に、企業の自主的な脱炭素化への取組を進めて行くことを目的とします。
2 会場	神戸市内（オンライン併用）
3 申込方法	下記 URL より必要事項を入力して申込 https://forms.office.com/r/T4bZZ7s28z
4 参加対象・定員	兵庫県下に立地し、脱炭素経営に1歩踏み出したい事業者 40 社程度 ※申込が定員より大幅に超過した場合、中小企業の事業者を優先し、地域性・業種等を考慮のうえ選定します。
5 期間	2026 年 8 月～2027 年 3 月（予定）
6 コース	一般コース（ステージ1・ステージ2）と SS コースの2コースです。学びたい内容に合わせて、各ステージ・各コースを自由に組み合わせ受講可能です。
7 参加費	無料
8 申込締切	2026 年 7 月 27 日（月曜）まで ※定員に空きがある場合、講座開始まで申込を延長いたします。
9 その他	「ひょうご脱炭素経営スクール」を開校するにあたり、事前公開講座として「脱炭素経営セミナー」を開催します。公開講座のみの参加も可能です。詳細は近日公開予定です。

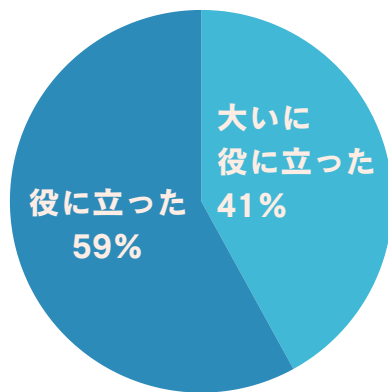
詳細はパンフレットをご確認ください。

2. お問い合わせ

一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所（HsI） 中川
E-mail：CN-school@hso-t.com

1

自社の脱炭素化に役に立った **100%**



スクールが、自社の脱炭素化に役に立ったと回答した修了事業者は全体の100%。

さらに、「別の方法で進めていたと思うが、スクールの参加ほどの進展はなかったと思う」が全体の51%、「スクールを受講していなければ、脱炭素化は進められなかったと思う」が全体の28%を占めています。

2

知識習得＋実情にあった個別面談＋異業種交流



各社の実情に応じたサポートや異業種の学びあいの場が好評

- ・ 企業の脱炭素の取組は馴染みがなかったため、色々と学べて良かった。
- ・ 自分で自社の取り組みなどについて改めて調べたりまとめたりすることで、理解がより深まり課題も見えたため、参加してよかった。
- ・ 脱炭素化の重要性や実践方法について深く学ぶことが出来た。演習を通じて、自社の具体的な計画を考える機会になり、理論だけでなく実践的なスキルを学ぶことが出来た。
- ・ マイルポストで個別面談がある事で、実情に沿った相談が出来た。
- ・ メンバーの知識構築の場、発表の場の形成につながった！
- ・ 脱炭素に対する意識が非常に高く、また、多様な企業が集まり、それぞれ脱炭素化の進度も違う中で、各社様々な取り組みをしており、非常に参考になった。
- ・ 他の企業の取り組みや悩みなどを知ることが出来、モチベーションが上がった。
- ・ 異業種の取組を聞くことが出来て、良かった。



脱炭素で未来を拓く ひょうご脱炭素経営 スクール

ともに、学ぶ！

脱炭素経営の次の1手に



コスト削減や補助金活用、取引継続、採用強化につながる脱炭素経営

2026年度プログラム（締切：7月27日（月））

定員に空きがある場合、講義開始まで申込を延長いたします。

- 対象：兵庫県下に立地し、脱炭素経営に1歩踏み出したい事業者40社程度
＊どんな業種でもご参加いただけます。
＊1講座あたり、1社2名程度まで受講可能
- 期間：令和8年8月～令和9年3月
- 講師：畑中 直樹氏（ひょうご持続可能地域づくり機構・研究所代表理事）
- コース：一般コース（ステージ1、ステージ2）／SSコース＊
＊中小企業版SBT取得、スコープ3算出に向けて特化したコース
- 一般コース：ステージ1：計4回、ステージ2：計4回（適宜、別途個別面談を実施）
第1回8/27、第2回、9/24、第3回10/15、第4回11/19、第5回調整中、第6回1/14、第7回2/25、第8回調整中
- SSコース：計3回 ● 参加費：無料
※SSコース：上記第3回、第7回、第8回の講義前後または、別日（受講者調整）で実施

申込フォーム



スクール概要
詳細はこちら

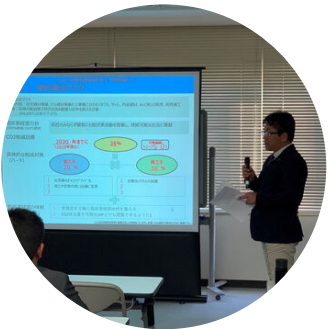


こんな事業者の方におすすめ！

- ✓ 物価高騰・エネルギー危機に備え、経営改善に取り組みたい。
- ✓ 中小企業版SBT認定に向けて動きたい。サプライチェーン全体で削減したい。
- ✓ 取引先から脱炭素化の要請がありそう。
- ✓ 脱炭素経営の社内浸透を図り、社内の人材育成や人材確保につなげていきたい。
- ✓ 担当者は自分だけ。相談相手がほしい。
- ✓ 兵庫県・神戸市の補助を効果的に活用したい。

主催：兵庫県・神戸市 協力団体：（公財）こうべ産業・就労支援財団

スクール概要



座学+グループワーク+個別面談+修了発表

1 座学

脱炭素経営を一步進めるための計画検討に向け、講師からレクチャー。実践者の話題提供も。
＜テーマ＞

- ・ 排出量の把握のポイント
- ・ 目標設定の考え方
- ・ 脱炭素経営の実践例
- ・ 対策について
- ・ 社内体制・社外PRについて

講師



ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO）
代表理事
畑中 直樹氏

（一社）ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl）代表理事、大阪大学大学院工学研究科 招聘教員（環境・エネルギー工学専攻）、（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）関西研究センター 元客員研究員、総務省地域力創造アドバイザー、豊田市脱炭素スクール校長、他歴任

2 グループワーク・個別面談・現場見学会等

全ての講座を受講することで、脱炭素経営計画が作成できるシートを配布します。各自で取り組むだけでなく、同じ悩みを持つ事業者同士、各社の経験等を共有しながら、学びを深めていきます。
あわせて、現場見学会や先駆者の修了生の取り組みから学びます。
また、各社の進捗にあわせて、講師・メンターによる個別相談も実施します。各社の実情や悩みに寄り添います。

3 修了発表会

作成した脱炭素経営計画について発表します。
修了発表後、修了要件を満たした事業者の方には修了証を授与します。

＜修了要件＞

- ①全回参加（欠席回は動画を視聴・ワークシート提出）
- ②検討の取りまとめ・発表
- ③成果の発信（社内外への発信）



スクール概要▶

本スクールの特徴

自らの力で！
だから、腹落ち
する計画に。

経営課題解決
につなげる

ネットワーク
形成

- ・ 座学+グループワークを通じて、自らの力で「脱炭素経営計画」を組み立てるスクール。
- ・ 脱炭素化だけではなく、「人材育成」「人材確保」「顧客創造」など、経営課題解決につながる「脱炭素経営計画」を検討します。
- ・ 講座を通じ、1人で悩まず、同じ悩み・課題を持つ方々とのネットワーク形成につながります。若手人材の育成にもご活用いただけます。
- ・ 修了事業者は、兵庫県・神戸市・ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO）のHPでご紹介。

自社のステージに応じて受講可能なコース

- ・ 自社の状態にあわせて学べて学ぶことができるよう2つのコースとステージを提供。
- ・ なお、一般コースについては、2ステージに分かれています。両方受講いただくことをおすすめしています。

一般コース ステージ1

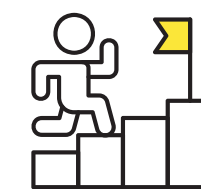


脱炭素経営の国内外の動向、目標設定やアクションについて学びます。既に目標が定まっている事業者の方も、未来に向けて必要な水準、取り組みについて学び、脱炭素経営宣言を取りまとめます。

回数：計4回

開催方法：現地orオンライン

一般コース ステージ2

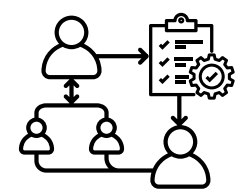


ステージ1で設定した目標に向けて具体的なアクションを考えるステージ。現場見学会や各社との意見交換により学びを深め、実践に向けた検討を進め、脱炭素経営計画を取りまとめます。

回数：計4回

開催方法：現地orオンライン

SSコース



スコープ3算出、SBT取得に向けて取り組むコース。スコープ3算出に向けて、1歩を踏み出します。

回数：計3回

対象：脱炭素経営スクール修了生及び受講生

開催方法：現地orオンライン
＊受講生の希望に応じて設定

修了生（2024年度、2025年度）

【2024年度】石光商事株式会社（卸売業・小売業）／旭光電機株式会社（製造業）／グッドホールディングス株式会社（廃棄物処理業/生活関連サービス業・娯楽業）／株式会社クワタ（卸売業・小売業）／株式会社コウエイ（農林業／製造業）／株式会社神戸マツダ（運輸業/卸売業・小売業／金融業・保険業）／CIMSジャパン株式会社（製造業／研究開発）／新明和工業株式会社（製造業）／西部サービス株式会社（廃棄物処理業）／株式会社ゼロプラス（経営コンサルティング）／株式会社坪田測器（製造業）／日本海工株式会社（建設業）／白鶴酒造株式会社（製造業）／株式会社みのる製作所（製造業）／株式会社山本電機製作所（製造業）

【2025年度】アスカカンパニー株式会社（製造業）／石光商事株式会社（卸売業・小売業）／有限会社岡田組（建設業）／生活協同組合コープこうべ（生活関連サービス業・娯楽業/卸売業・小売業）／DSL.ジャパン株式会社（製造業）／株式会社紅中（卸売業・小売業/製造業）／株式会社ホンダモビリティ近畿（卸売業・小売業/自動車販売）／ユニタイト株式会社（製造業）

＜SSコース＞石光商事株式会社（卸売業・小売業）／新明和工業株式会社 航空機事業部（製造業）／株式会社山本電機製作所（製造業）／ユニタイト株式会社（製造業）

修了生の脱炭素経営アクションの詳細はこちらから ▶▶▶



環境学習講座「こうべエコちゃれゼミ」はじまるよ！

環境局では、神戸の豊かな自然環境を活かした野外活動中心のイベントや、ワークショップなどの教室型のイベントなど、小学生から大人まで一緒に学べる環境学習講座「こうべエコちゃれゼミ」を、夏休み期間中に全 19 回開催します。各講座の募集は 6 月 8 日より順次開始します。楽しい講座の開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



開催イメージ

1. プログラム（全 19 回）

[夏休み期間中の講座一覧・予定]

7 月 22 日（水曜）親子で学ぶ！エコ×防災教室 講師：株式会社好日山荘

7 月 24 日（金曜）川に行こうよ♪親子で明石川探検 講師：玉ーアクアリウム

7 月 30 日（木曜）こうべの木でコースター作り

講師：合同会社 六甲山クリエイティブラボ

8 月 5 日（水曜）森のいのちを形にしよう-野生シカ革で作る 世界でひとつのブックマークキーホルダー

講師：株式会社メリケンヘッドクォーターズ

8 月 6 日（木曜）廃材 de 紙すき 講師：社会福祉法人木の芽福祉会御影倶楽部

8 月 20 日（木曜）～科学と森のおはなしのわくわく体験～鉄と電気の科学実験&森の絵本のおはなし

講師：株式会社神戸製鋼所

8 月 25 日（火曜）『地球にやさしく！くらし見直し隊』+ポリエチレン管で万華鏡作り

講師：大阪ガスネットワーク株式会社

講座の詳細は、エコちゃれゼミのホームページからご確認ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/education/kobeekocharezemi.html>

2. 対象

神戸市内在住・在学・在勤の小学生以上の方（講座によっては対象に制限があります）

3. 参加費

無料

4. 参加方法

こうべエコちゃれゼミのホームページから申込み
（募集人数を超えた場合は抽選）



参加費
無料
抽選

こうべ エコチャレゼミ

環境学習講座

2026

夏休みの
宿題にも!

7月



親子で学ぶ! エコ×防災教室

講師 株式会社好日山荘

7/水 22

屋内

会場 ふたば学舎



川に行こうよ! 親子で明石川探検

講師 玉ーアクアリウム

7/金 24

屋外

会場 明石川と伊川の合流点



こうべの木でコースター作り

講師 合同会社 六甲山クリエイティブラボ

7/木 30

屋内

会場 KIITO



8月



森のいのちを形にしよう

野生シカ革で作る 世界でひとつのブックマークキーホルダー

講師 株式会社メリケンヘッドフォーターズ

8/水 5

屋内

会場 兵庫県立美術館レストラン



廃材de紙すき

講師 社会福祉法人木の芽福祉会御影倶楽部

8/木 6

屋内

会場 ふたば学舎



～ 科学とおはなしのわくわく体験～ 鉄と電気の科学実験&森の絵本のおはなし

講師 株式会社神戸製鋼所

8/木 20

屋内

会場 KIITO



『地球にやさしく! 暮らし見直し隊』 十ポリエチレン管で万華鏡作り

講師 大阪ガスネットワーク株式会社

8/火 25

屋内

会場 ふたば学舎



AUTUMN
Coming soon...

秋以降の講座も神戸市ホームページで順次公開!

講座一覧の
最新情報はこちら



主催 神戸市

お問い合わせ 株式会社ベイエリア MAIL: event_jim@bayarea.jp TEL: 078-265-6080 ※平日10:00-17:00受付

2026 年度 KOBE ゼロカーボン支援補助金の採択結果

神戸市では、2050 年カーボンニュートラルの実現に寄与する市民一人ひとりの意識醸成や行動変容につながる活動を支援するため、「KOBE ゼロカーボン支援補助金」を実施しています。今年度も多数の応募がありましたので、その採択結果についてお知らせいたします。

1. 募集の結果

2026 年度募集（募集期間：2026 年 3 月 13 日～4 月 29 日）では、スタンダード枠 40 件、先進枠 13 件、学生枠 4 件の計 57 件の応募がありました。

審査の結果、33 件（スタンダード枠 26 件、先進枠 3 件、学生枠 4 件）の活動を採択し、補助交付を決定しました。

2. 採択活動一覧

スタンダード枠（補助上限額 100 万円）・・・計 26 件

	申請者 (代表申請者名のみ)	活動の名称
1	上垣内 賢司	木のチカラで暮らしをつくる：KIDS 未来への物語
2	初田 直哉	コミュニティ農園における循環型社会と花とみどりのまちづくりの構築
3	合同会社 神戸白黒	森で学ぶ地球の事 里山資源循環モデル構築事業
4	NPO 法人 PV ネット兵庫 グローバルサービス	自然と共生する都市型小水力発電所の森における都市山整備と森林資源活用
5	砂田 安菜	廃材×デザインで広げる、循環型ライフスタイル実証事業
6	中村 淑樹	神戸の里山放置林（放置竹林含む）の森林整備による二酸化炭素吸収・固定化促進事業
7	伊與田 安正	上穂川フィールドにおける竹林整備および竹材の資源化
8	一般社団法人 須磨里海の会	海草藻類を利用したブルーカーボン増大事業
9	株式会社 O78	神戸市内事業者連携による「おから」の地域資源循環モデルの構築
10	関西電力 株式会社	兵庫県立 兵庫工業高等学校との地域課題解決に向けたコラボイベント
11	兵庫漁業協同組合	兵庫運河の藻場・干潟と生き物の生息場作り

12	工藤 祥	農用林・薪用林として里山林を復活せよ！（排出物の循環づくり）
13	株式会社 W	間伐材プロダクト立上げと「ゼロカーボンウィーク」開催による脱炭素型ライフスタイルの普及
14	丸山 僚介	遊びから学ぶ神戸のゼロカーボンライフ モデルルーム見学&キャンプ体験
15	SINGH RAJEEV KUMAR	白川コミュニティファーム：循環型・低炭素による持続可能な地域づくり
16	今別府 香織	竹の循環で地域を照らす 輝夜祭プロジェクト
17	平田 圭	放置竹林資源を活用したカーボンニュートラル型土壌炭素固定モデル事業
18	山崎 正夫	放置された里山広葉樹林をグリーンウッドワークで活かす
19	角野 史和	都市農園と堆肥づくりを通じた循環型地域住環境整備事業
20	合同会社 居々荘	稲わら・古材・竹でつくる茅葺き堆肥小屋と地域資源循環の実証事業
21	NPO 法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト	KOBE タケノコメンマプロジェクト
22	笠井 祐里	循環と持続可能な生活をともにつくる地域拠点
23	社会福祉法人 すいせい	障害者就労支援事業が協働する神戸市内 SDGs 事業連携モデル
24	荻野 美子	地域と学校をつなぐ竹資源循環プロジェクト
25	一般社団法人 たねまき LAB	コーヒーかすを活用したきのこ栽培
26	合同会社 廃屋	古材のデジタルアーカイブと高精度製材による資源循環事業

先進枠（補助上限額 300 万円）・・・計 3 件

	申請者 (代表申請者名のみ)	活動の名称
1	六甲バター 株式会社	工場からでるチーズ廃棄物から作るチーズ発酵肥料の製品化に向けたテストおよび QBB エコシステムの確立
2	神戸市公立大学法人 神戸市立工業高等専門学校 (教授 鈴木 隆起)	神戸発・次世代汚泥脱水技術による下水処理プロセスの無燃料化とカーボンニュートラル実現に向けた先導的実証
3	小規模保全技術研究所 一般社団法人	まちかど里山工房: バイオマス由来の高分子樹脂等を活用した古民家の木材保存技法の開発と実践拠点づくり

学生枠（補助上限額 20 万円）・・・計 4 件

	申請者 (代表申請者名のみ)	活動の名称
1	島崎 紗歌	地球温暖化対策の概要と神戸市や神戸大学農学部での取り組みについての紹介
2	藤原 佑	Bamboo に Thank You Project
3	坂下 麗奈	放置竹林の活用：プラスチックの代替素材としての可能性
4	田山 結菜	学生団体 Re.colab K0BE による里山ゼロカーボン再生事業を発端とする啓発活動

3. 採択活動の紹介

下記のほか、ホームページにおいて、過去の採択活動を紹介しています。

https://www.city.kobe.lg.jp/a73498/zero_carbon_aid.html#kakonojigyo

上垣内 賢司

里山の間伐材をエネルギーとして活かし、ペレットストーブの体験と学びを通じて、子どもたちと地域が未来の循環型暮らしを共につくるプロジェクト。

初田 直哉

コミュニティ農園の残渣を堆肥化し地域内で循環利用する仕組みを構築するとともに、住民参加型ワークショップや花とみどりのまちづくり活動「ユメノフラワー」を通じて脱炭素型ライフスタイルの普及を図る。

合同会社 神戸白黒

森林整備で発生する木材や落ち葉を薪・バイオ炭・コンポストとして活用し、体験型環境教育と収益化を通じて資源循環型の脱炭素モデルを構築する。

NPO 法人 PV ネット兵庫グローバルサービス

発電所の森内の茂り過ぎた木を適切に間伐し森林資源としての有効活用と脱炭素に取り組む。発電所の森を活用したイベントを開催し『学びの場』『憩いの場』として持続可能なしくみ、体制の確立を目指した活動とする。

砂田 安菜

廃材を活用したジュエリーや生活プロダクトの制作と発信により、資源循環と脱炭素を魅力的な選択として提案する実証事業。

中村 淑樹

北区山田町の里山放置林の皆伐輪伐手法による落葉広葉樹森への 10 年以上を必要とする再生整備と、山中の棚田跡の繁茂竹林の整備により、森林の二酸化炭素固定能力向上とバイオマス資源の活用を継続して行う。

伊與田 安正

須磨区・垂水区を流れる上穂川での竹林整備と竹材の炭化・資源化を通じ、脱炭素と地域循環型の小さな経済モデルを構築。市民参加型の体験と啓発により、行動変容と持続可能な社会の実現を目指す。
一般社団法人 須磨里海の会 海の生態系と生き物を豊富にする里海活動を行い、人々の海への関心を高め、海に誘い、漁業と観光リクリエーションが両立する、恵み豊かな自然環境を次代に継承することを目的に、須磨海岸で活動。
株式会社 078 最新テクノロジーを備えた設備を用いて、おからの加工・商品化を行い、持続可能な資源活用モデルの事業化に取り組む。また、美味しさを起点に普及啓発を行うことで、市民の脱炭素型のライフスタイルへの転換を促す。
関西電力 株式会社 神戸市、兵庫県立 兵庫工業高等学校 電気科3年生および教員、関西電力の共催で放置竹林整備・間伐作業、伐採した竹を使った親子向けワークショップイベントや小学校での出前教室を実施する。
兵庫漁業協同組合 地元小学生、地元企業等と共にアマモ場の増殖を図る活動に取り組むとともに、人工干潟等によるアサリの生態系復活を目指し、兵庫運河の藻場および干潟等の保全活動。
工藤 祥 間伐面積の拡大に伴い、排出間伐材の処理が活動の妨げになっており、これまでの活動で習得した間伐材の処理方法、交流の輪を最大限に活用し、排出材の実需者との連携を進める。
株式会社 W 神戸市内の間伐材を活用したプロダクトブランドを立ち上げ、衣・食・住の環境配慮型ブランドが集う「ゼロカーボンウィーク」を年3回開催。暮らしの延長線上で脱炭素を体験できる場を創出し、市民の行動変容を促す。
丸山 僚介 キャンプ体験や見学を通じ、太陽熱、薪ストーブ×床暖房、コンポスト等がある暮らしを体感。専門知識がなくても「自分の暮らしでもできる!」という手応えと発見を届け、日常の自発的な行動変容を後押しする。
SINGH RAJEEV KUMAR 白川地域の資源を活用し、堆肥化・有機農業・竹活用を通じて循環型社会を実践。学生と地域が協働し、環境保全と地域活性化を目指す。
今別府 香織 神戸市北区淡河町の放置竹林を毎月整備し、伐採竹を使ったワークショップや輝夜祭に活用。資源循環と脱炭素を学ぶ市民参加型事業として、竹林に困る地域へ展開する。
平田 圭 放置竹林を整備し、ポアラス竹炭及び竹炭を製造。農地へ施用し炭素固定を行うとともに、

菌ちゃん農法と組み合わせて土壌炭素の蓄積と地域循環型の脱炭素モデルを構築する。
山崎 正夫 里山整備から発生した未利用材の小径木をグリーンウッドワークに活用し、里山整備と木工の両方を楽しみながら脱炭素を実現する同好会の取組み。焼却していた材積量がそのまま炭素固定に貢献する。
角野 史和 空き地を活用した菜園「おさんぽ畑」のクラフト堆肥づくりを通じ、気軽に楽しい循環型ライフスタイルに触れられる機会をつくる。
合同会社 居々荘 近隣の稲わら・古材・唐櫃の竹林から出る竹・落ち葉等を活用し、山脈・くさかんむりと連携して市民参加で茅葺き堆肥小屋を製作。堆肥化の実証と成果発信を通じ、地域資源循環と脱炭素を体験的に学ぶ場をつくる。
NPO 法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 神戸市の放置竹林からとれた竹を活用してメンマをつくり、海の魚の肝や海苔、神戸山椒などで商品を開発し販売する。
笠井 祐里 自然エネルギーを利用した生活の工夫や廃棄資材を使ったものづくりなどを体験できる場を提供し、ワークショップなどを通して環境問題について学んだり関心を高めたりする機会を創出する。
社会福祉法人 すいせい 多様な参加者を得て、放置竹林の伐採、「竹炭」「竹チップ・竹パウダー」の製造による廃棄材の資源化、ローコストで改善した土壌で生産した物を理解啓発ワークショップに活用する、社会連動モデルの取組。
荻野 美子 放置竹林の竹を活用し、竹パウダーによる堆肥づくりを地域と学校で実施する。地域住民が主体となって取り組み、子供が学びを地域に発信することで、資源循環と脱炭素に向けた行動変容を地域全体に広げる。
一般社団法人 たねまき LAB 日常的に廃棄されているコーヒーかすを回収し、きのこ栽培に再利用。収穫体験を通じ、大人だけでなく子どもにもわかりやすく資源循環を体験できる参加型の脱炭素プログラム。
合同会社 廃屋 解体現場から救出した古材のサイズ・樹種等をデータ化し、設計者へ早期提供する体制を構築。高精度な製材加工技術と組み合わせることで、廃棄木材の削減と都市部での炭素固定量を最大化する先進的モデルを確立する。
六甲バター 株式会社 本来廃棄されるロスチーズを「チーズ発酵肥料」に作り変え、焼却による CO2 の削減を目指す。また、市民向けのワークショップを開催し、脱炭素の取組みを発信する。

神戸市公立大学法人 神戸市立工業高等専門学校（教授 鈴木 隆起） 2024 年度アーバンイノベーション神戸の成果をもとに、ラインミキサーと真空浮上技術による脱水性能において、含水率を革新的に低減し、無燃料焼却と劇的な脱炭素を神戸から実現する。
小規模保全技術研究所 一般社団法人 神戸市北区の古民家をモデルとし、竹由来のリグニンによる木部修復、粃殻由来シリカを混合した木材/茅葺資材のコーティング、ひまし油によるバイオ発泡充填等の技術により、木材保存活用の実践を行う。
島崎 紗歌 高校生を含む 10 代の地球温暖化対策への関心を深めるために、オープンキャンパスを活用したプレゼンテーションを行う。情報発信は、ポスターとチラシを用いる。ポスターは、神戸大学での取り組みについて紹介する。
藤原 佑 竹資源の循環的活用と価値創出を軸に、放置竹林問題の解決と脱炭素への貢献を目指す。市民が竹を身近な資源として捉え、主体的に関わる社会の実現を図る。
坂下 麗奈 ゼミでの研究で現在使わせていただいている白川にある竹を利用し、コースターや付箋、最終的には卵パックの作成・販売を目標に、環境への影響、実現可能性を研究する。
田山 結菜 神戸市の耕作放棄地を借り受け、「リコラボファーム」として再生を目指す活動を展開。完全有機栽培など環境負担の少ない循環型農業を行っている。さらに里海再生プロジェクトや啓発活動にも取り組む。

記者資料提供（2026 年 6 月 12 日）

神戸市環境局自然環境課 岡田・山本

TEL：078-595-6216 FAX：078-595-6254

MAIL：biodiversity@city.kobe.lg.jp

国連の生物多様性条約締約国会議（COP17）に参加する学生が決まりました

生物多様性の損失は世界的な課題であり、その回復に向けた「ネイチャーポジティブ」の実現には、次世代の担い手であるユース世代の積極的な参加が不可欠です。

生物多様性など、地球環境問題を考え課題に取り組むユース世代の人材育成及び彼らによる市民啓発の推進を目的として、2026 年 10 月にアルメニア共和国で開催される生物多様性条約第 17 回締約国会議（COP17[※]）に、神戸市とともに参加する学生を派遣します。

この度、36 名の応募があり、書類選考および面接審査により派遣する学生が決まりましたのでお知らせします。

※生物多様性の国際目標を決定し、各国の取組状況を確認する国連の国際会議

1. 派遣内定者（氏名/大学名/学年）（50 音順）

- ・黒子 風大/神戸市外国語大学/3 年
- ・小池 春伽/神戸市外国語大学大学院/修士 2 年
- ・長濱 永実/神戸大学大学院/修士 2 年
- ・牧野 颯大/神戸大学/3 年
- ・松本 奈々/神戸大学大学院/修士 2 年

2. 事業概要

COP17 では、ユースイベントでの登壇や、海外の学生・自治体との意見交換などを行います。学生の渡航費等は協賛企業と市が負担します。

(1) COP17 への派遣（派遣先：アルメニア共和国エレバン市）

(2) 派遣後に市内で開催する生物多様性シンポジウムでの学生の報告

(3) 神戸市ホームページ等でのプロモーション

3. 今後のスケジュール

6 月 18 日（木曜） 派遣前研修 1 回目（学生自己紹介や生物多様性などに関する講義）

6 月 27 日（土曜） 派遣前研修 2 回目（北区山田町の自然共生サイト[※]での棚田整備活動）
（予備日 6 月 28 日（日曜））

7 月中旬 派遣前研修 3 回目（外来生物展示センターでの学習）

～この間、派遣前研修（里山活動等を含む）を複数回実施～

10 月中旬 COP17 出発式

10 月下旬 COP17 派遣

11 月頃 市長へ帰国報告

12 月中 生物多様性シンポジウム（報告会）の開催

※企業、団体、自治体等によって生物多様性の保全が図られている区域

4. 協賛企業の募集

この事業の実施にあたり、渡航費・宿泊費など学生にかかる費用については、企業の協賛をお願いしたいと考えています。

現時点で、アース製薬株式会社、住友林業株式会社、大栄環境株式会社、株式会社みなと銀行の4社からご支援をいただきます。

引き続き、本事業の趣旨に賛同し、ご協賛いただける企業を募集しております。

ご関心のある企業様は、神戸市環境局自然環境課までお問合せください。

5. 本事業について

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/biodiversity/cop17.html>

(参考) 第2回目研修を行う自然共生サイトの棚田



記者資料提供（2026 年 6 月 23 日）

神戸市環境局業務課 岡・白井

TEL：078-595-6141 FAX：078-595-6246

家庭ごみの指定袋に関する臨時的措置の期間延長

2026 年 6 月 1 日（月曜）より、家庭ごみの指定袋が購入できない場合に限り、家庭ごみの指定袋以外の袋での排出を可能としていますが、未だ複数の地域で指定袋の品切れが認められる状況であるため、当初「2026 年 6 月 30 日（火曜）まで」としていた臨時的措置の期間を「2026 年 9 月 30 日（水曜）まで」延長することといたします。

1. 臨時的措置の期間

2026 年 6 月 1 日（月曜）から 9 月 30 日（水曜）まで【当初期間は 6 月 1 日から 30 日】

※期間終了後は、家庭ごみの指定袋のみの収集に戻ります。

期間に変更がある場合は、改めてお知らせします。

2. 臨時的措置の内容（変更なし）

①収集する袋

- ・ 15L から 45L の大きさを透明または半透明（袋越しに中身の文字等が見える程度）の袋

②収集しない袋

- ・ 中身が見えない袋（袋越しに中身の文字等が見えない袋）
- ・ 破れやすい袋
- ・ 水分が染み出る袋
- ・ 口を縛れない袋
- ・ 神戸市の事業系ごみ指定袋
- ・ 他自治体の指定袋

神戸市フードロスロッカー設置経費等補助制度に係る 第 1 回目交付先を決定しました

2026 年 4 月 23 日付「2026 年度神戸市フードロスロッカー設置経費等補助制度」の公募を行ったところ、多数の応募がありました。審査の結果、下記の事業者を第 1 回目の交付先として決定しましたので、お知らせします。

1. 事業の概要

小売店や飲食店等の何もしなければ廃棄されてしまう食品等をフードロスロッカーに店頭表示価格を下回る価格で提供していただき、商品を購入したい市民とマッチングさせる事業です。

2. 補助対象とする事業者等

複数の小売店や飲食店が商品提供できるフードロスロッカーを設置・運営する事業者等を補助対象とします。

3. 交付決定台数

19 台

4. 採択事業者一覧

事業者名	設置場所
(株) Boulangerie Gourmand	東灘区
岡本商店街振興組合	東灘区
(株) ジェイエイファーム六甲	東灘区
(株) にしむらコーヒーサービス	東灘区
(株) フレッシュ・フィールド	灘区
(株) 078	中央区
ツヅラノフロンティア (株)	中央区
ツヅラノフロンティア (株)	中央区
新光明飾 (株)	中央区
(株) ジェイエイファーム六甲	北区
(株) やくもファーム	北区
(株) 北神地域振興	北区（北神エリア）

ニコファームうえだ	北区（北神エリア）
（株）ジェイエイファーム六甲	北区（北神エリア）
新光明飾（株）	長田区
kimuraya	須磨区
（株）ジェイエイファーム六甲	西区
（株）ジェイエイファーム六甲	西区
野の舎	西区

※順不同

5. 稼働時期と設置場所

8月以降、順次稼働予定です。

なお、詳細な設置場所については、ロッカー設置事業者において、稼働日の目途がつき次第、神戸市ホームページに掲載する予定です。

フードシェアリングサービス普及促進に関する事業連携協定を締結しました

神戸市では、小売店や飲食店等の何もしなければ廃棄されてしまう食品（食品ロス）について、アプリや Web サイト等を通じて消費者とマッチングし、安価で提供するフードシェアリングサービスの普及促進に取り組んでいます。

このたび、神戸市は、以下のとおり、フードシェアリングサービスの普及促進に関する事業連携協定を締結しましたので、お知らせします。

1. 連携事業者

株式会社コークッキング
株式会社ロスゼロ
CiPPo 株式会社
※順不同

2. 連携協力事項

- （１）市が実施するフードシェアリングサービス普及促進事業の広報及び普及啓発
- （２）市内食品販売事業者に対する、フードシェアリングサービス導入促進に向けた取組
- （３）市民に対する、フードシェアリングサービス利用促進に向けた取組 など

3. 市の役割

市は、フードシェアリングサービスの普及促進に向けて、以下の取り組みを実施します。

- （１）市民および市内食品販売事業者に対する、フードシェアリングサービスの利用・導入促進に向けた取組
- （２）市のホームページや広報物等を通じた、連携事業者の取組内容の紹介
- （３）市内食品関連事業者に対する、連携事業者の取組内容の紹介および情報提供

4. 連携協定期間

2026 年 7 月 1 日（水曜）～2027 年 3 月 31 日（水曜）

5. その他

事業連携の詳細につきましては、今後神戸市 HP にて順次掲載予定です。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/foodsharing.html>

記者資料提供（2026 年 7 月 27 日）

神戸市環境局環境企画課 藤井・前田

TEL：078-595-6093 FAX：078-595-6240

「神戸SDGs表彰」の推薦募集開始

神戸市は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成を通じた持続可能な都市の実現を目指しています。SDGsの達成に貢献する、自然共生や脱炭素、資源循環などの分野で、優れた取り組みを行う団体・個人を表彰する「神戸SDGs表彰」（大賞、奨励賞、功労賞）の候補者を募集します。

1. 表彰の対象

神戸市内で、以下に例示するSDGsの達成に資する社会問題の解決につながる活動を行っている団体又は個人

- ① 自然共生の活動（生物多様性の保全、外来種対策など）
- ② 脱炭素の活動（温室効果ガスの削減、グリーンイノベーションの推進など）
- ③ 資源循環の活動（資源循環の促進、海洋プラスチックの削減など）
- ④ 上記の①～③の活動以外に実施するSDGsの達成に資する活動

2. 表彰の種類と賞金

- ① 大賞（50 万円）
革新的な活動を行い、功績が極めて顕著な団体又は個人
- ② 奨励賞（30 万円）
先進的な活動を行い、今後の活躍が特に期待される新進気鋭の団体又は個人
- ③ 功労賞（10 万円）
長年にわたり活動し、功績が顕著な団体又は個人

3. 募集期間

2026 年 9 月 8 日（火曜）まで

※受賞候補者推薦要項は、「6. ホームページ」をご覧ください。

4. 推薦方法

自薦・他薦は問いません。

推薦書様式は、「6. ホームページ」よりダウンロードいただけます。

推薦書は、原則、WORD 形式で電子メールにより下記メールアドレスまで提出してください。

推薦書提出先：kobesdgs@city.kobe.lg.jp

※メールのタイトルは「神戸SDGs表彰推薦」としてください。

5. 表彰式等スケジュール（予定）

2026 年 12 月初旬頃	受賞者発表
12 月中下旬頃	表彰式

6. ホームページ

2026 年度神戸 S D G s 表彰受賞候補者の推薦募集

<http://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/gomi/kobedsgshyousyoubosyu.html>

7. その他

受賞者については、本市のホームページで紹介しています。

<http://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/gomi/kobesdgshyousyou.html>

三宮に新しい喫煙所がオープンしました

本市では、路上喫煙禁止地区周辺での、市民等の快適で安全な生活、来訪、滞在等を確保する取り組みとして「神戸市喫煙所整備経費等補助金制度」を創設し、民間事業者による喫煙所整備を推進しています。

この度、本制度を活用した喫煙所が新たにオープンしました。来訪者を多く迎える三宮駅周辺において、迷惑喫煙の防止や吸い殻のぽい捨てなどマナーの向上にも繋がる場所として、多くの方々に利用されることを期待しています。

1. 喫煙所の概要

名称	スモーカーズプレイス ブリケコンフォール
所在地	神戸市中央区北長狭通 1 丁目 30（ピアザ 1 の 8 番）
運営者	株式会社 元林
開設時間	7 時～22 時
供用開始日	2026 年 7 月 31 日（金曜）7 時から（予定）



2. 神戸市喫煙所整備経費等補助金制度

本市では、人通りが多く、路上喫煙による火傷や衣服の焼け焦げなどの被害が特に発生するおそれがある地区を「路上喫煙禁止地区」に指定し、違反者から 1,000 円の過料を徴収しています。「路上喫煙禁止地区」での路上喫煙を防止する取組みの一環として、喫煙所の整備経費に対する補助金を交付しています。

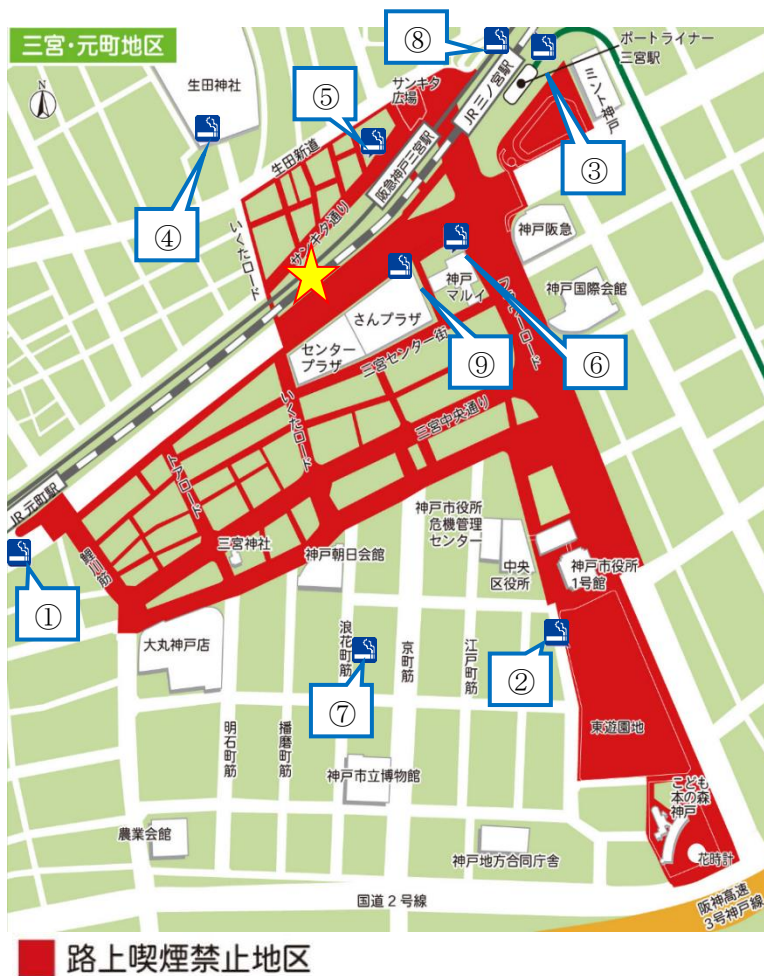
・ 2026 年度申請期限 2027 年 2 月 12 日（金曜）まで

※予算の上限に達した場合は、年度途中であっても受付を終了します。

喫煙所整備経費等補助金の申請受付

（URL : https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/kituenjo_hojo.html）

(参考) 喫煙所設置場所 (三宮・元町地区)



★ スモーカーズプレイス
ブリケコンフォール喫煙所

【参考】

神戸市公衆喫煙所

①元町駅前喫煙所

②三宮駐車場喫煙所

民間喫煙所

③カフェサンタマリア横
フリー喫煙所

④生田神社喫煙所

⑤THE TOBACCO SANNOMIYA

⑥ファミリーマート三宮店
地下1階喫煙所

⑦YOKOZUNA STAND SMOKING
ROOM

⑧扇港商会 店舗喫煙所

⑨アクセス三宮店喫煙所

「路上喫煙禁止地区」の区域

(URL : <https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/kurashi/activate/project/eco/area.html>)

2025 年度 神戸市の大気質・水質・騒音・公害苦情処理等の状況

神戸市では、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準（環境基準）の適合状況を確認するため、大気質、水質、騒音の状況等の測定を行っています。

このたび、2025 年度に行いました各種環境測定の結果及び公害苦情処理状況についてとりまとめました。

【概要】

○市内の環境は、近年、総じて良好な環境を維持しており、2025 年度においても、大部分の環境測定結果が環境基準に適合していました。

- ・大気質については、20 の測定局（一般環境大気測定局 15 局、自動車排出ガス測定局 5 局）で測定を行い、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質（PM2.5）については、測定した全局で環境基準を達成しました。

一方、光化学オキシダントについては、全局で環境基準を達成せず、全国的にも環境基準の達成率が低い（2024 年度 1,160 地点中達成なし）状況が続いています。なお、光化学オキシダントが原因となる健康被害は発生しませんでした。

アスベストについては環境基準が定められていませんが、測定した全 5 地点で、一般の大気環境と同程度とされている石綿繊維数濃度（1 本/L 程度）を下回っていました。

- ・水質については、60 地点（河川 35 地点、湖沼 2 地点、海域 23 地点）で測定を行い、河川の一部の調査地点で自然的要因により、環境基準値を超過した砒素（1 地点）、ふっ素及びほう素（1 地点）が検出されましたが、概ね良好な結果でした。

しかしながら、湖沼では COD 及び全燐については環境基準を達成しませんでした。海域の全燐、全窒素については、環境基準を達成していましたが、瀬戸内海においてはノリの色落ち等が問題になっていることから、兵庫県条例で定められている全燐、全窒素の下限值にも対応していく必要があります。

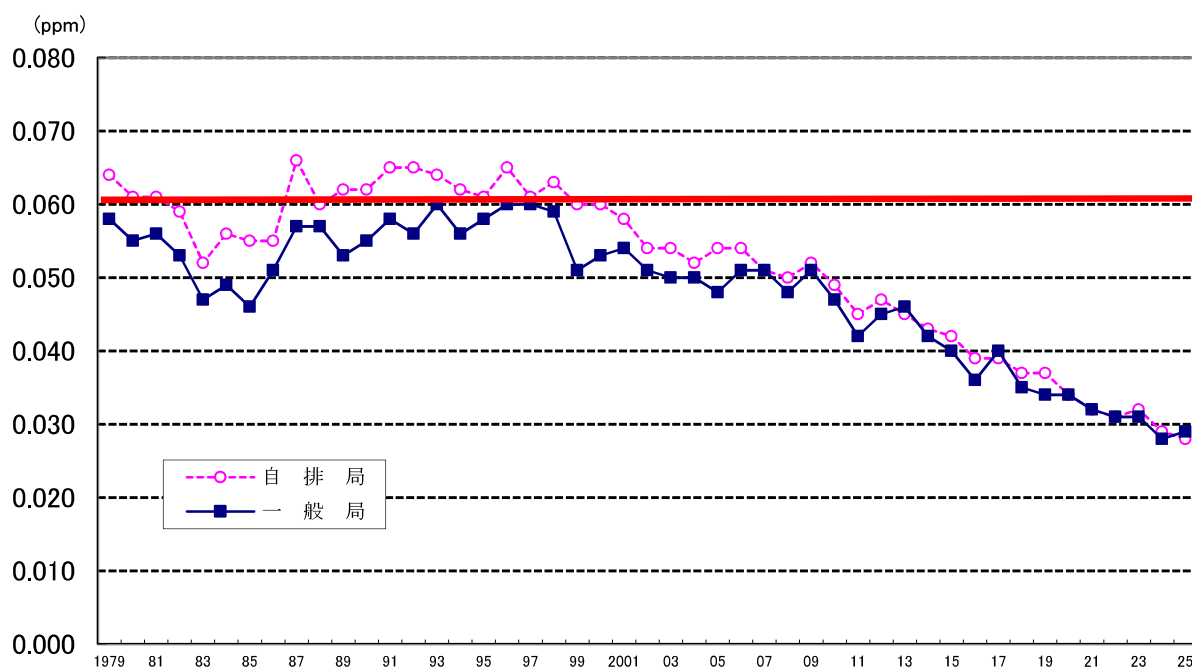
- ・明石川流域における化学物質（PFOS 及び PFOA）については、調査を行った 20 地点中 18 地点で、年平均値が国の指針値（PFOS 及び PFOA の合計値 50ng/L 以下）を超過しました。
- ・自動車騒音については、調査した幹線道路沿道 25 地点のうち、16 地点（64%）で昼間及び夜間ともに環境基準を達成しました。

○公害苦情件数は 492 件あり、工事現場の作業音等の騒音（43%）が最も多く、次いで悪臭（24%）に係る苦情が多く寄せられました。

1. 主な大気質の状況

(1) 二酸化窒素

測定した全局（18 局）で環境基準を達成しました。2001 年度以降、概ね減少傾向で推移しています。



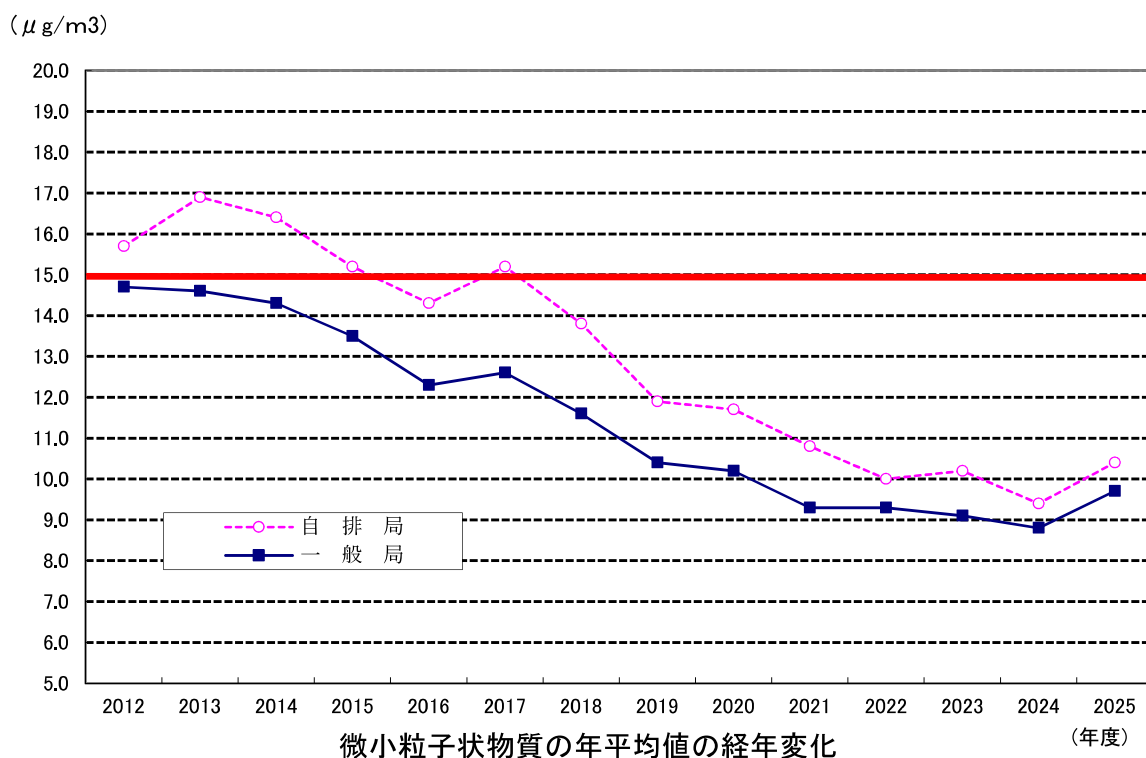
二酸化窒素の年間98%値（上位3局平均値）の経年変化

(年度)

※ 年間における二酸化窒素の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの。

(2) 微小粒子状物質(PM2.5)

測定した全局（17 局）で環境基準を達成しました。2013 年度以降概ね減少傾向で推移しています。



微小粒子状物質の年平均値の経年変化

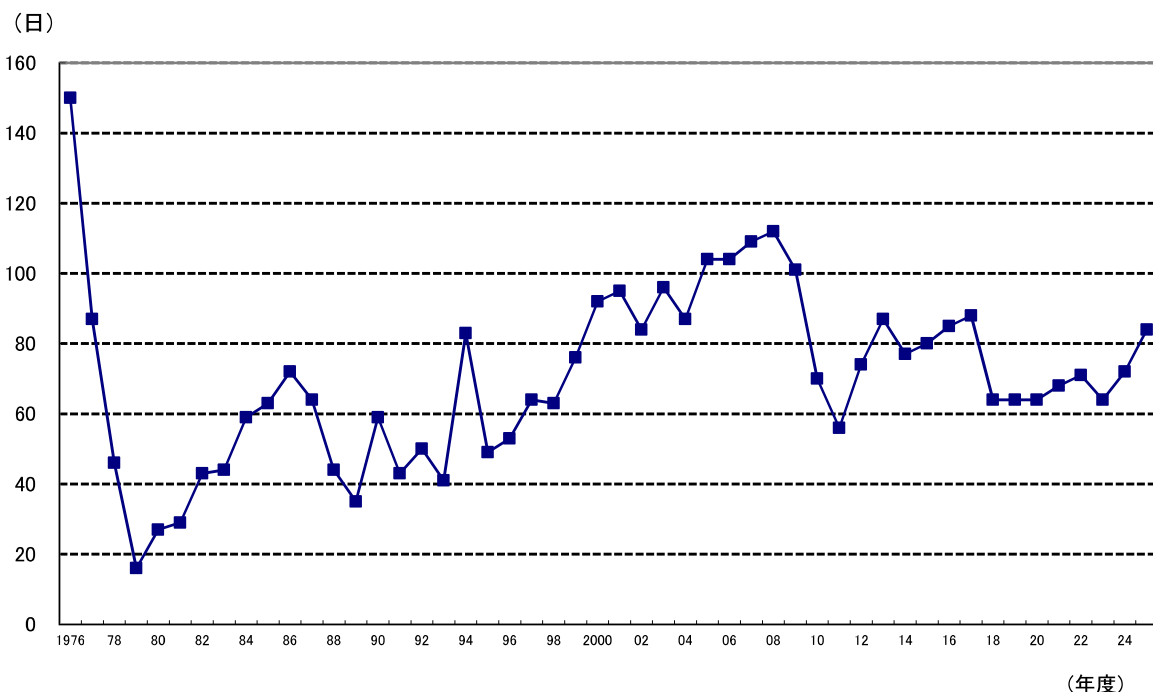
(年度)

(3) 光化学オキシダント

測定した全局（12 局）で環境基準を達成しませんでした。全国的にもほぼ環境基準を達成していない状況です。（2024 年度測定地点 1,160 地点中達成なし）

環境基準を超過した日数については、全局の平均で 84 日と近年横ばいの状況でした。

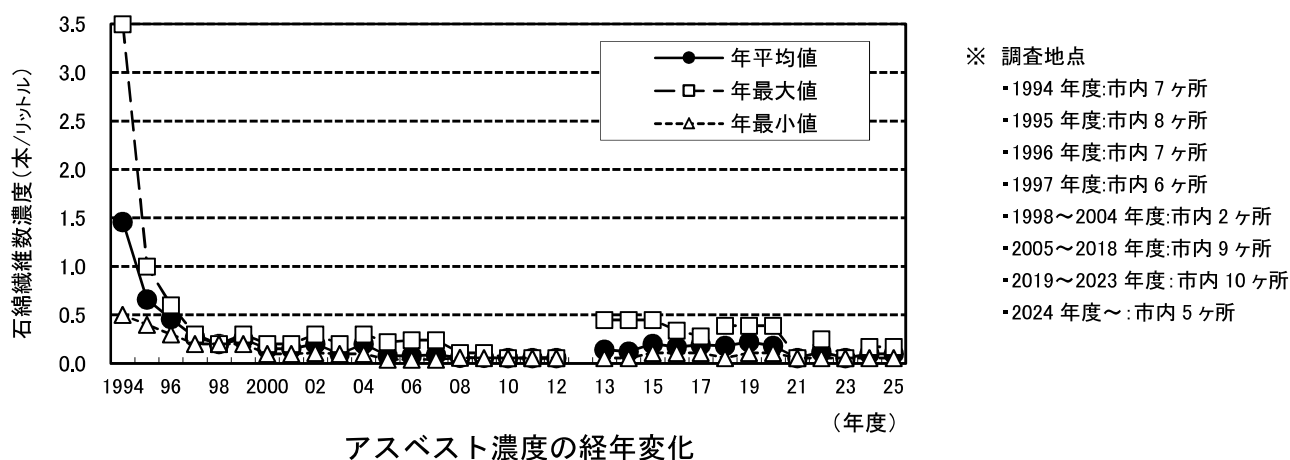
また、光化学オキシダントが原因となる健康被害は、2002 年度以降発生していません。



昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数の経年変化 (光化学オキシダント)

(4) アスベスト

環境基準は定められていませんが、測定した全 5 地点で、一般の大気環境と同程度とされている石綿繊維数濃度（1 本/L 程度）を下回っていました。



※ 2021 年度、2023 年度は全て 0.056 本/L 未満である。

※ 2012 年度まではクリソタイル繊維数濃度、2013 年度からは総繊維数濃度での経年変化を表示している。

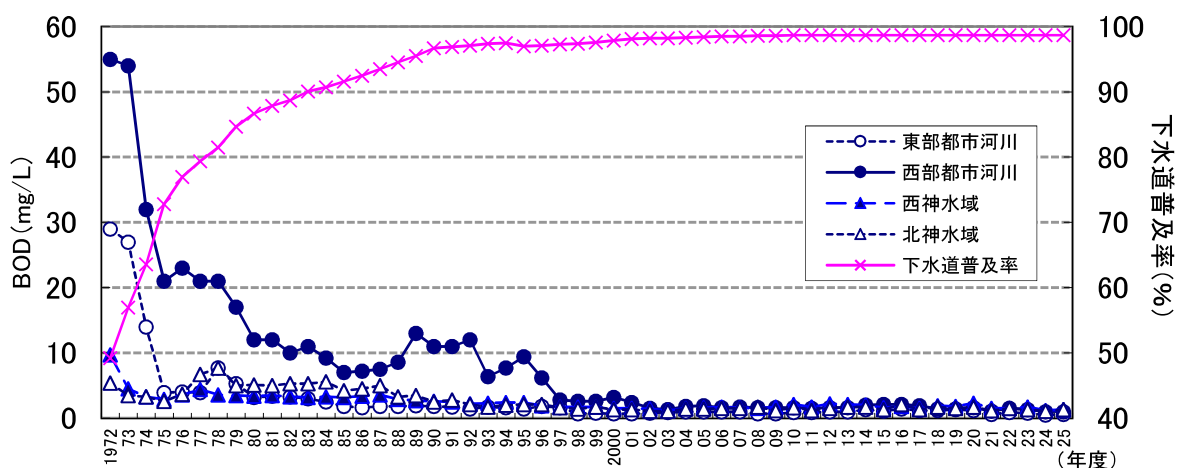
2. 主な水質の状況

(1) 河川の水質

河川の水質汚濁の代表的指標である BOD※は概ね良好な水質（3mg/L 以下）で推移しています。しかしながら、自然的要因により、環境基準値を超過した砒素（1地点）、ふっ素及びほう素（1地点）が検出されました。

※ BOD（生物学的酸素要求量）

水中の有機物が微生物の働きにより分解される際に消費される酸素量



河川の水域別の B O D 75%水質値の経年変化（水域別の平均値）

※ 都市河川水域（東部・西部）については、毎年測定している地点（東部：住吉川、都賀川、生田川、西部：新湊川、妙法寺川、福田川）のデータにより作成している。

※ 75%水質値：BOD及びCODについて環境基準の適否を評価する場合に用いられる統計値。日平均値の全データを値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値のことをいう。

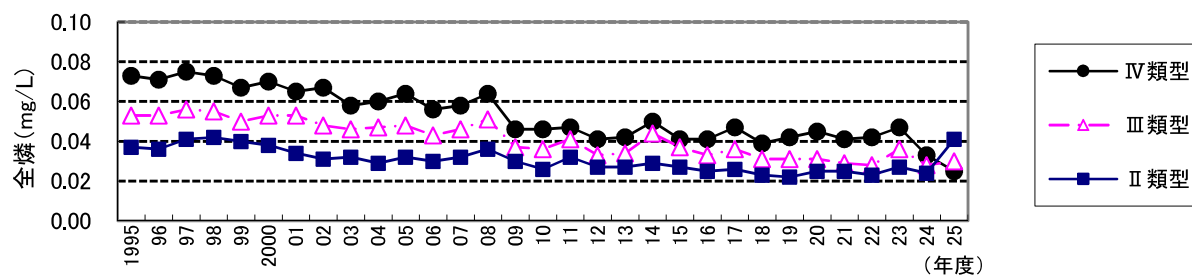
(2) 海域の水質

瀬戸内海において、富栄養化の指標である磷や窒素については、すべての調査地点で環境基準値を下回っていました。

〈全磷〉

全磷の環境基準値（上限値）・水質目標値※¹（下限値）との比較

項目	年平均値 (mg/L)	類型※ ²	環境基準 (mg/L)	水質目標値 (mg/L)
全磷	0.025	Ⅱ	0.03 以下	0.02 以上
	0.030	Ⅲ	0.05 以下	
	0.041	Ⅳ	0.09 以下	

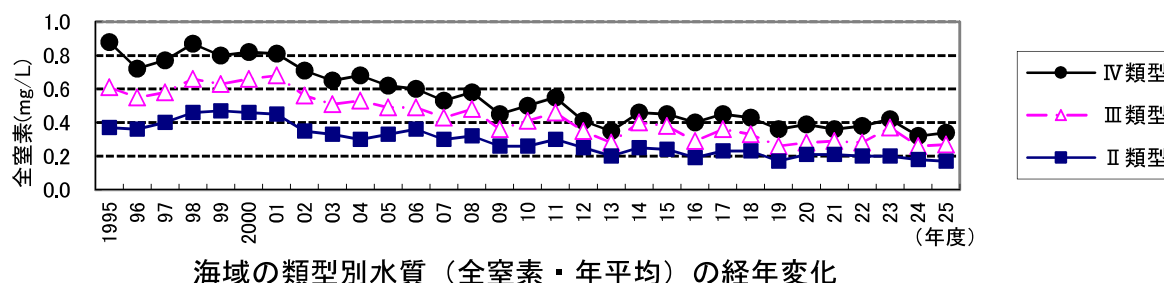


海域の類型別水質（全磷・年平均）の経年変化

〈全窒素〉

全窒素の環境基準値（上限値）・水質目標値※¹（下限値）との比較

項目	年平均値 (mg/L)	類型※ ²	環境基準 (mg/L)	水質目標値 (mg/L)
全窒素	0.17	Ⅱ	0.3 以下	0.2 以上
	0.27	Ⅲ	0.6 以下	
	0.34	Ⅳ	1 以下	



- ※1 兵庫県が定めている瀬戸内海の海域における良好な水質を保全し、かつ、豊かな生態系を確保する上で望ましい栄養塩類の濃度（全窒素・全磷の下限値）（兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」に規定）
- ※2 調査地点は、現況の水質や利水状況等を勘案し、水域ごとにそれぞれ環境基準の目標レベル（類型）が設定されています。

3. 明石川流域における化学物質（PFOS 及び PF0A）の状況

明石川流域において、調査を行った 20 地点中 18 地点で、年平均値が国の指針値（PFOS 及び PF0A の合計値 50ng/L 以下）を超過しました。

4. 自動車騒音

幹線道路 20 路線の沿道 25 地点で測定し、16 地点（64％）で昼間及び夜間とも環境基準を達成しました。

また、昼間のみ環境基準を達成したのは 5 地点（20％）、夜間のみ環境基準を達成したのは 1 地点（4％）、昼間及び夜間とも環境基準を達成しなかったのは 3 地点（12％）でした。

5. 公害に関する苦情処理の状況

- ・ 2025 年度の公害苦情の受付件数は 492 件でした。
- ・ 種類別にみると、工事現場の作業音等の騒音が最も多く（210 件、43％）、次いで悪臭（116 件、24％）、水質汚濁（92 件、19％）に係る苦情が多くありました。

6. その他

（1）データ等の詳細は、環境局ホームページに掲載しています。

（2）関連する神戸市 HP のリンク

ア 過去の資料（神戸市の大気質・水質・騒音・公害苦情処理等の状況）

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66958/kurashi/recycle/kankyohozen/kohyo.html>

イ 神戸市の環境の状況

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66958/kurashi/recycle/kansikekka/index.html>



フードシェアリングサービス普及促進に係る連携事業者の追加決定

神戸市では、小売店や飲食店等の何もしなければ廃棄されてしまう食品（食品ロス）について、アプリや Web サイト等を通じて消費者とマッチングし、安価で提供するフードシェアリングサービスの普及促進に取り組んでいます。

このたび、神戸市は、以下のとおり、フードシェアリングサービスの普及促進に関する事業連携協定を新たに締結しましたので、お知らせします。

1. 連携事業者

Too Good To Go Japan 株式会社

2. 連携協力事項

- （1）市が実施するフードシェアリングサービス普及促進事業の広報及び普及啓発
- （2）市内食品販売事業者に対する、フードシェアリングサービス導入促進に向けた取組
- （3）市民に対する、フードシェアリングサービス利用促進に向けた取組 など

3. 市の役割

市は、フードシェアリングサービスの普及促進に向けて、以下の取り組みを実施します。

- （1）市民および市内食品販売事業者に対する、フードシェアリングサービスの利用・導入促進に向けた取組
- （2）市のホームページや広報物等を通じた、連携事業者の取組内容の紹介
- （3）市内食品関連事業者に対する、連携事業者の取組内容の紹介および情報提供

4. 連携協定期間

2026 年 8 月 5 日（水曜）～2027 年 3 月 31 日（水曜）

5. その他

事業連携の詳細につきましては、今後神戸市 HP にて順次掲載予定です。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a84526/foodsharing.html>



神戸市環境局のお知らせ

資源紙のリサイクルにご協力をお願いします

現在、事業所から排出される「可燃ごみ」には、リサイクル可能な資源が多く含まれています。

- 資源紙
- プラスチック類
- 食品廃棄物（食品ロス）



事業系ごみ総重量と組成

これらは正しく分別すると、ごみの減量と資源化につながります。

特に資源紙は、多くの自治体で既に可燃ごみとしての排出を禁止しており、神戸市においても可燃ごみとしての排出禁止を見据え、紙類の資源化を推進していきます。

裏面を参考に、紙類の分別の徹底とリサイクルにご協力ください。

紙類の資源化の方法

紙類を資源化するためには、まず、きちんと分別することが大切です。

きちんと分別すると、条件によっては買取される場合があります。

排出方法などの詳細は、以下のとおりです。

分別方法の
詳細↓



- **事業系資源紙取扱事業者に相談する**

資源紙を取り扱っている（収集・受入など）事業者です。

回収可能な資源紙の種類（品目）、回収条件なども紹介しています。

ホームページ↓



- **事業系資源紙回収協力事業者に持ち込む**

営業時間内に資源紙を持ち込むと、無料で引き取りを行う事業者です。



- **市内各所の回収拠点に持ち込む**

資源紙を手軽に持ち込むことができるよう、市内の各所に無人の事業系資源紙回収拠点があります。



- **現在契約している、事業系ごみの収集運搬
事業者相談する**



アンケート調査にご協力ください

回答↓

事業系ごみのリサイクルを進めるため

あなたのお店・事業所のごみの出し方について伺います。



問い合わせ 神戸市環境局事業系廃棄物対策課

電話 | 078-595-6110 FAX | 078-595-6250

e-mail | gs_jigyokei@city.kobe.lg.jp

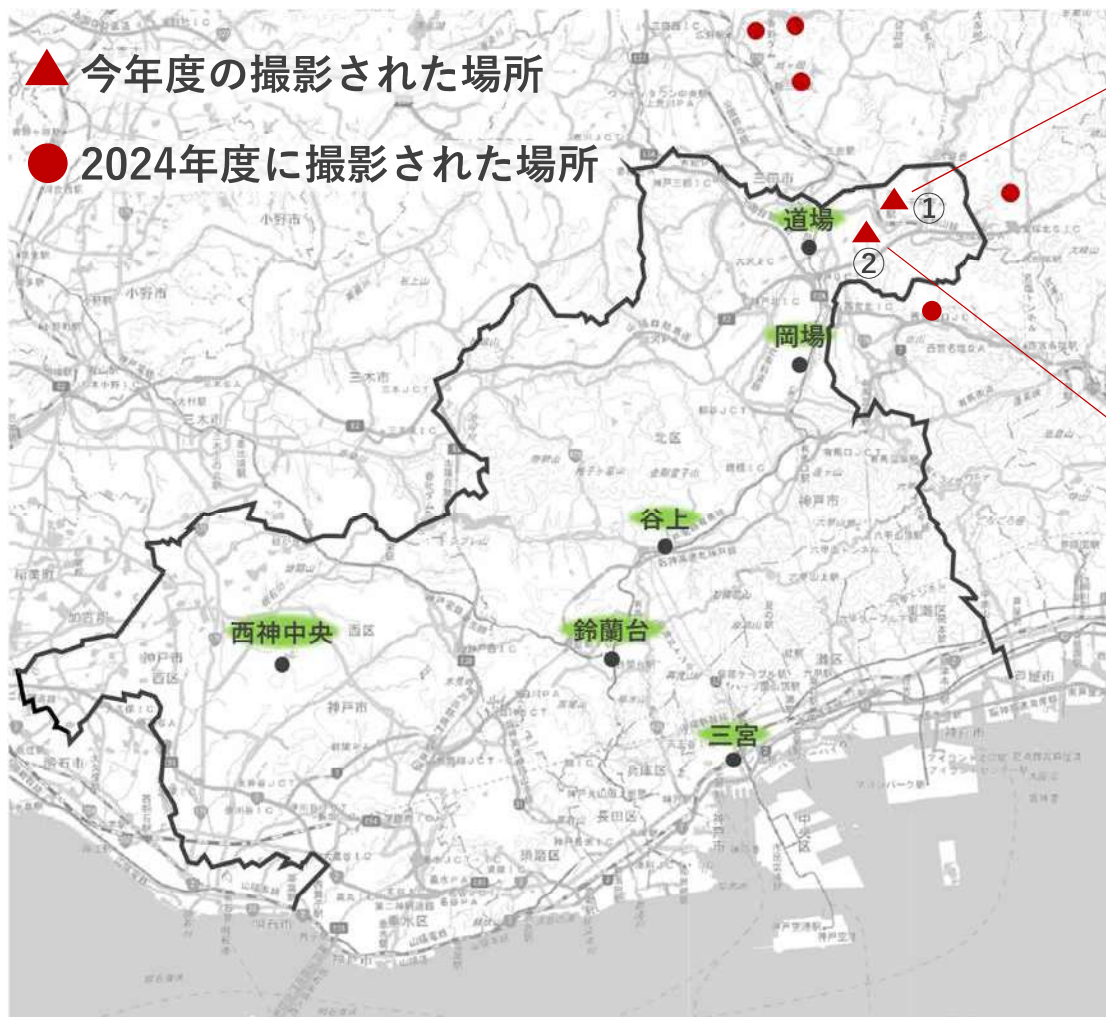


神戸市をとりまくツキノワグマの状況と予防監視体制

神戸市環境局 自然環境課

北区道場町の山林で確認されたクマ情報

BE KOBE



① 撮影日時 | 2026年6月11日 17時頃



n14 M 2026/06/11 16:57:19 024°C

② 撮影日時 | 2026年7月18日 6時半頃



Hyke n13 M 2026/07/18 06:29:03 024°C

ツキノワグマの確認情報



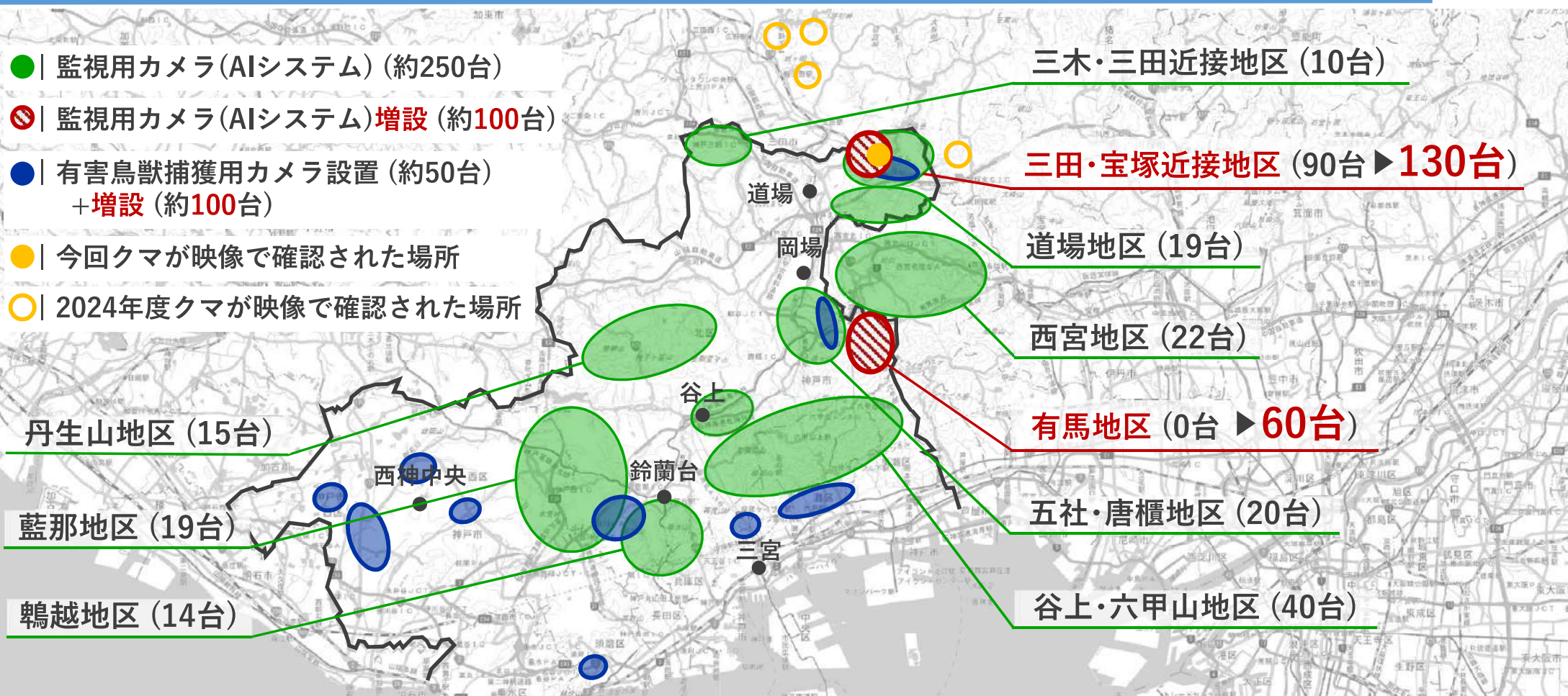
航空写真で見えてみると



センサーカメラ約200台増設

BE KOBE

- | 監視用カメラ(AIシステム) (約250台)
- 🚫 | 監視用カメラ(AIシステム)増設 (約100台)
- | 有害鳥獣捕獲用カメラ設置 (約50台)
+ 増設 (約100台)
- | 今回クマが映像で確認された場所
- | 2024年度クマが映像で確認された場所



合計約500台の山間部設置は自治体トップレベルの予防監視体制

AIシステムを利用したリアルタイム通知



出典：株式会社ほくつう

センサーカメラとリアルタイム通知

BE KOBE



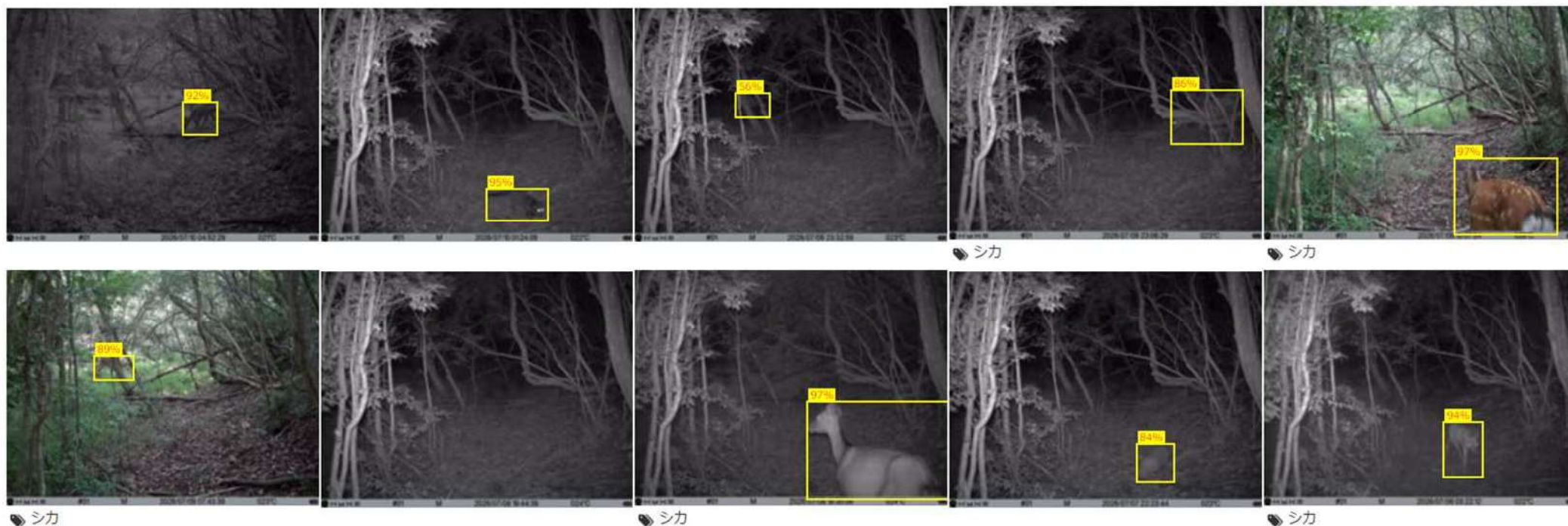
AIクラウドシステムの確認画面

BE KOBE

Sw15



全て閲覧



確認後の対応

BE KOBE



捕獲檻の設置



周辺駅などで注意喚起ポスターを掲示

- 専門家による現地調査
- 周辺住民への注意喚起
- 捕獲わな(専用のドラム缶檻)を確認された山林に設置
- 駅などの周辺施設や登山道で注意喚起

引き続き、厳重な警戒体制での対応に加え
センサーカメラの増台等 を実施する